

平成30年度実施事業 実施報告会

協働推進事業

と き 令和元年5月25日（土）
ところ 市役所本庁舎4階 会議室2～5

【協働推進事業実施報告会】

- 14:00 開会（委員長あいさつ、委員紹介、実施報告についての説明）
- 14:10 報告（平成30年度に1年目として実施）
- 14:54 報告（平成30年度に2年目として実施）
- 16:32 全体意見交換・あいさつ
- 16:55 協働推進事業実施報告会 終了

平成30年度実施協働推進事業 実施報告会 目次

進行予定表	1
平成30年度実施協働推進事業について	2
協働推進事業の評価の実施について	3
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	8

平成30年度に1年目として実施

行政提案型協働推進事業

- 1 (仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設「はまかぜ菜園」等管理運営事業 11
*31年度は「茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等」管理運営事業
半農半xを楽しむ会・青少年課体験学習センター
- 2 郷土資料デジタルライブラリー推進事業 19
特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット・図書館

平成30年度に2年目として実施

市民提案型協働推進事業

- 3 ハマミーナ魅力UP大作戦 31
特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎・文化生涯学習課・福祉政策課
- 4 防災への動画活用 59
特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット・防災対策課
- 5 中学生への学習支援事業—わかる喜びを、生きる力に— 69
特定非営利活動法人こども応援丸・学校教育指導課

行政提案型協働推進事業

- 6 茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト 77
特定非営利活動法人ドットジェイピー・企画経営課
- 7 市制70周年 茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業 99
NPO 法人3F Community Service・文化生涯学習課

平成30年度実施協働推進事業実施報告会 進行予定表

【協働推進事業実施報告会】

各団体及び事業担当課があわせて事業の実施状況を発表し、その後、市民活動推進委員が今後の事業展開や収支決算等についてコメントします。

開 会 14時00分（市民活動推進委員会委員長あいさつ、委員紹介、実施報告についての説明）

発表順	時間	区分		事業名	団体名	事業担当課
1	14:10 ～ 14:30	1 年 目 実 施	行 政 提 案 型	（仮称）茅ヶ崎公園体験学習施設「はまかぜ菜園」等管理運営事業 *31年度は「茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等」管理運営事業	半農半xを楽しむ会	青少年課体験学習センター
2	14:32 ～ 14:52			郷土資料デジタルライブラリー推進事業	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	図書館
3	14:54 ～ 15:10	2 年 目 実 施	市 民 提 案 型	ハマミーナ魅力UP大作戦	特定非営利活動法人 まちづくりスポット茅ヶ崎	文化生涯学習課、 福祉政策課
4	15:12 ～ 15:28			防災への動画活用	特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット	防災対策課
休憩（15:28～15:40）						
5	15:40 ～ 15:56	2 年 目 実 施	市 民 提 案 型	中学生への学習支援事業 一わかる喜びを、生きる力に一	特定非営利活動法人 こども応援丸	学校教育指導課
6	15:58 ～ 16:14:		行 政 提 案 型	茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテ スト	特定非営利活動法人 ドットジェイピー	企画経営課
7	16:16 ～ 16:32		市制70周年 茅ヶ崎市民文化会館 改修工事期間を活用したメモリアル 事業	NPO 法人3F Community Service	文化生涯学習課	
総括・評価（16:32～16:50）						

閉 会 16時55分ごろ

平成30年度実施協働推進事業について

1 協働推進事業企画案の募集

【行政提案型】

行政提案型協働推進事業公募説明会を実施しました。

○日程

平成29年8月30日（水） 9時30分～、平成29年 9月15日（金）10時30分～
平成29年9月27日（水）15時30分～、平成29年10月18日（水）19時00分～

協働推進事業の企画案を募集しました。

○期間 平成29年8月上旬～9月22日（金）

※行政提案型協働推進事業公募テーマ

部課名	事業テーマ
青少年課	（仮称）茅ヶ崎公園体験学習「はまかぜ菜園」等管理運営 *31年度は「茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園等」管理運営事業
図書館	郷土資料デジタルライブラリー推進事業

【市民提案型】

市民提案型協働推進事業意見交換会を実施しました。

○日程 平成29年9月11日（月）10時～・18時～
平成29年9月14日（木）10時～・18時～
平成29年9月15日（金）15時～・18時～
平成29年9月16日（土）10時～

協働推進事業の企画案を募集しました。

○期間 8月上旬～10月20日（金）

2 協働推進事業公開プレゼンテーション

協働推進事業応募団体の公開プレゼンテーションと市民活動推進委員による質疑を行いました。

○日時 平成29年12月2日（土）9時～12時20分

○会場 茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室2・3

3 協働推進事業の選考

非公開の選考会議で、市民活動推進委員会委員が各団体の事業内容を次の項目で評価しました。

- (1)協働テーマ・概要：市民ニーズを的確に捉えたものであり、緊急性の面など、公共サービスとして重要性が高いものであるか。（市民提案型のみ）事業内容は、課題の解決につながるものであるか。また、その手法として適切か。市民満足度の向上や具体的な成果（質の高い公共サービスの提供等）が期待できるか。
- (2)協働の効果：市との役割分担は適切であり、市が関わることの必要性が認められるか。協働することで相乗効果が得られるか。
- (3)団体の能力：提案の団体は、事業提案書の内容を実現するために必要な能力（アピール力、実施

体制を含む)を有しているか。

- (4)市民活動としての特性：事業内容は市民活動の特性（先駆性・専門性等）を生かした手法、発想によるものとなっているか。
- (5)事業の具体性・実現の可能性：事業の実施手法、スケジュールは、事業目的を達成するために適切な内容となっているか。
- (6)収支予算：経費の予算配分及び内容は適正であるか。
- (7)事業の発展性：市民・他団体や事業者等に理解され、発展が期待できるか。または、地域社会の市民力・自治力のアップにつながるか。

4 協働推進事業の評価の実施について

(1) 評価の目的

協働プロセス及び事業内容の視点から評価を行うことで、事業の成果を検証するとともに、取り組み過程等における改善点を抽出し、協働推進事業の発展を通じた協働によるまちづくりの推進を図ります。

また、評価結果の公表により、協働推進事業の透明性の向上と市民への説明責任を果たします。

(2) 評価対象事業

- ① 行政提案型協働推進事業
- ② 市民提案型協働推進事業

(3) 評価形態

協働推進事業の評価は、自己評価と第三者評価を基本とし、事業の性質に応じて、可能な限り受益者評価も取り入れます。

①自己評価…実施団体と事業担当課による自己評価（中間評価・最終評価）

ア 中間評価（報告）

実施時期は、事業内容に応じて実施団体と事業担当課が事業開始前に決定する。ただし、事業期間が6ヶ月に満たない場合は、双方合意のうえで省略することができる。

イ 最終評価

事業終了後、4月を目途に自己評価を実施し、その後の実施報告会（一般公開）で市民活動推進委員会による第三者評価を受ける。

② 第三者評価…市民活動推進委員会による(1)の自己評価を受けての評価

（中間評価は、確認のみ（見守り、アドバイス）とする。）

③ 受益者評価…サービス利用者を対象としたアンケート等の実施による評価

（事業の性質に応じて、可能な限り実施する。）

(4) 評価の実施方法

① 評価の準備（事業開始前に行う。）

ア 実施団体と事業担当課が評価項目を確認し、協議のうえで成果目標を決定

イ 中間評価の実施時期を決定

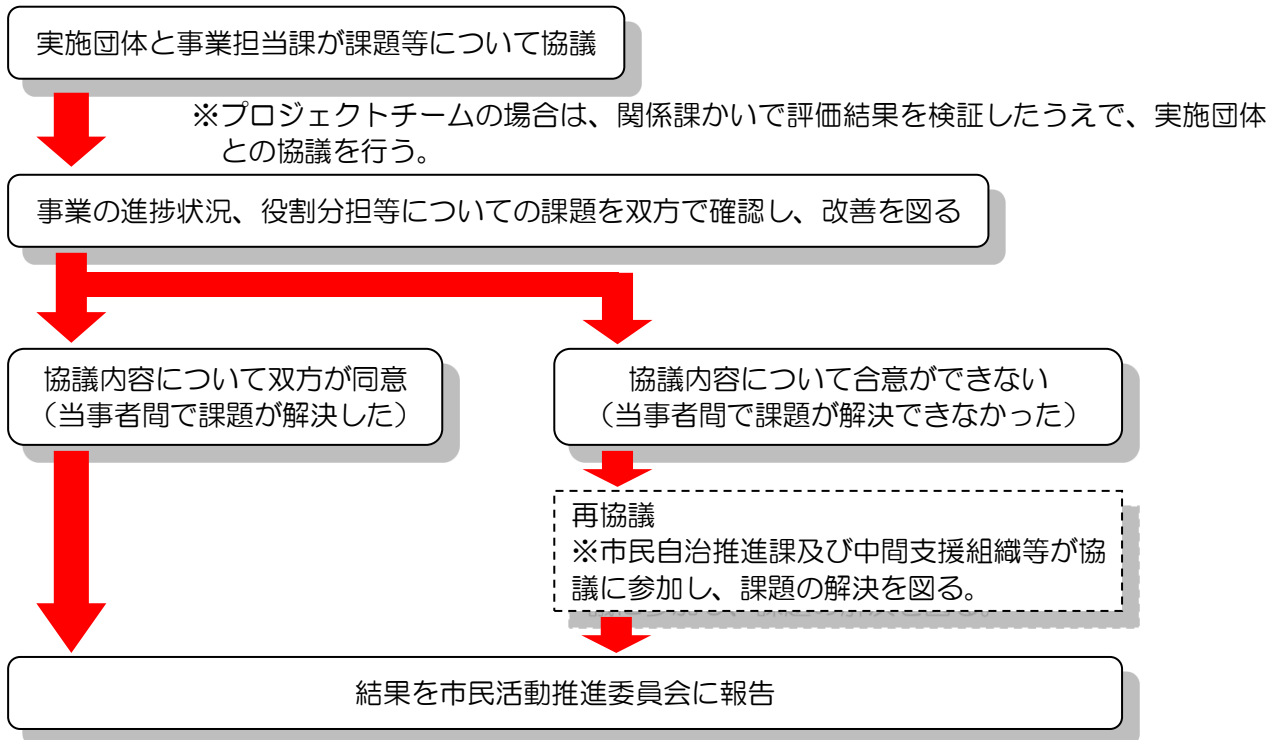
ウ 受益者評価（利用者アンケート等）の実施を検討

※プロジェクトチームの場合は、すべての関係課かいが参加する。

② 中間評価（報告）

「進捗状況」「今後のスケジュール」「課題等」を報告する。

※評価結果は、協議内容も含めてホームページで公表する。



③ 最終評価

実施団体と事業担当課が「協働推進事業評価シート」による自己評価

※プロジェクトチームの場合は、関係課かいで評価結果を検証したうえで、実施団体との協議を行う。

実施団体と事業担当課が評価結果について協議を行い、事業成果及び評価結果を共有

※受益者評価を実施した事業については、その結果の確認と分析も行う。

実施報告会

- 実施団体と事業担当課が事業成果及び評価結果を発表
 - 事業成果及び評価結果を受けて、市民活動推進委員会で評価
- ※実施報告会は、一般公開で行う。
※実施報告会の内容は、評価結果も含めてホームページで公表する。

評価結果のフィードバック

- 協働推進事業の仕組みの見直し、改善
- 個別事業における実施手法の見直し、改善

協働推進事業の発展・協働まちづくりの推進

(5) 当事者評価の評価項目

評価は、「協働プロセス」及び「事業内容」について実施する。

また、市民活動推進委員会の評価は、第三者評価としての視点から、市民活動団体及び担当課が実施した評価結果と実施報告会での発表を踏まえて実施します。

①協働プロセス評価

評価要素	着 眼 点
目的共有	・ 事業目的は共有できたか。 ・ 事業内容について十分な検討ができたか。
役割分担	・ 事業計画書で定めた役割分担は適切であったか。
対等性確保、相互理解	・ 上下関係ではなく、対等な形で意見交換、事業を行ったか。 ・ 十分な意思の疎通が図られたか。
自主性、自立性	・ お互いの立場、役割を尊重して事業を進められたか。
透明性、公開性	・ 事業に関する情報を広報紙、ホームページ等で公表したか。 ・ 事業の進捗に応じて、情報を速やかに更新できたか。
相乗効果	・ それぞれが得意とする部分（優れている部分）を事業に生かされたか。 ・ それぞれが単独で実施するよりも大きな効果が得られたか。

②事業内容評価

評価要素	着 眼 点
事業目的、目標達成度	・ 事業計画に記載した事業目的は達成できたか。 ・ 協働事業評価書で設定した成果目標は達成できたか。
事業スケジュール	・ 事業計画書のスケジュールどおりに実施できたか。
費用対効果	・ 投入した資源は適正であったか。 * 総事業費は予想どおりだったか、予想以上の支出があったか等により判断する。
事業手法の妥当性	・ この事業を協働で実施してよかったと思うか。 (理由も記入する。)
市民（受益者）満足度	・ サービスの受け手となる市民の意見の反映や情報収集に努めたか。 ・ 事業を実施したことによって、市民（受益者）満足度は高まったか。

(6) 市民活動推進委員会の評価項目

市民活動推進委員会の評価は、実施団体及び担当課の評価を受けて、協働プロセス及び事業内容についての意見を「協働推進事業評価票」シートに記入するとともに、次により5段階評価を行います。

① 協働プロセスについての意見及び評価

② 事業内容についての意見及び評価

③ 全体評価（協働のプロセス、事業内容を含めた全体に関する評価、今後に向けた意見等）

(7) 評価段階

市民活動推進委員会が行う「協働プロセス」「事業内容」についての評価は、5段階評価とする。

評点	評価段階
5	事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った。
4	事業実施前の想定をやや良い方向に上回った。
3	事業実施前に想定した範囲の評価。
2	事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた。
1	事業実施前の想定より評価をはるかに低いと感じられた。

(8) 評価における市民活動推進委員会の役割

個々の事業実施結果及び当事者評価に対し、第三者的視点からの評価、助言を行うとともに、市の協働の取り組みの全体像を把握することで、今後の制度改善、より望ましい協働のあり方についての審議を効果的に進めます。

(9) 評価結果の活用

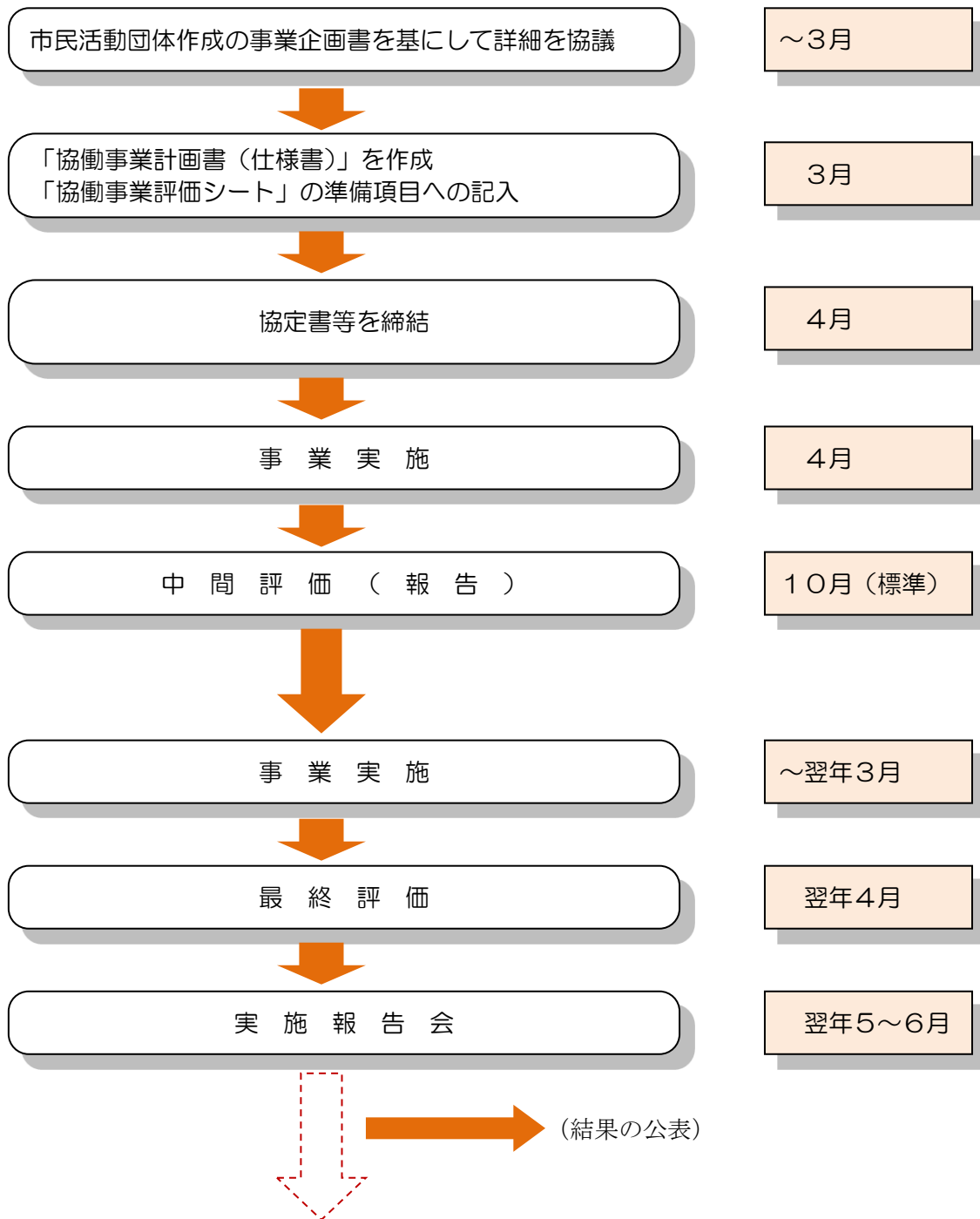
① 市民活動団体と担当課が共有し、事業の改善等に役立てます。

評価が高かった場合は、結果を分析したうえで、さらに高い効果を得るための方策を検討する。
評価が低かった場合は、目標を達成できなかった要因を明らかにし、事業に改善に役立てる。(事業の見直しを含む。)

② 市民自治推進課で一元管理を行い、協働の推進及び制度の改善に活用します。

評価項目等については、評価実施者の意見等を参考として、必要に応じて見直しを行う。

5 事業実施前の準備から評価までの流れ



評価結果は、市民自治推進課で一元管理し、制度改善、職員研修等に活用する。

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

平成30年6月12日現在

区分	委員名	所属
市 民	くさ の まさ ひろ 草 野 正 弘	公募
	にし の き いち 西 野 義 一	
	もり ゆう いち ろう 森 祐 一 郎	
市民活動を行う ものの代表者	しい の のり こ 椎 野 典 子	NPO 法人市民活動を支える会理事長
	はだ の たく や 秦 野 拓 也	認定特定非営利活動法人まちづくりスポット 茅ヶ崎事務局長
事業者の代表者	いし た き いち 石 田 貴 一	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部部長
	きた がわ てつ や 北 川 哲 也	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所事務局長
	たか はし じゅん し 高 橋 準 治	株式会社タウンニュース社湘南支社長 兼 茅ヶ崎編集室編集長
学識経験を 有する者	い と う たかし 伊 藤 隆	元国際交流基金日米センター事業第二課長
	いわ かべ さかえ 岩 壁 栄	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会の代表
	おお え もり ゆき 大 江 守 之	放送大学客員教授 慶應義塾大学名誉教授
	なか がわ く み こ 中 川 久美子	元横浜市政策支援センター主席研究員
	みず しま しゅう いち 水 島 修 一	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会常務理事

平成30年度に1年目として実施

行政提案型

1 (仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設「はまかせ菜園」等管理運営事業
(半農半xを楽しむ会・青少年課体験学習センター)

協働推進事業実績報告書

平成 31 年 4 月 19 日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 半農半 X を楽しむ会

代表者氏名 長谷 享 印

平成 30 年度行政提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設「はまかぜ菜園」等管理運営事業
担当課名	青少年課体験学習センター
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度 5 月から 6 月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくこととなります。

協働推進事業実施結果

<p style="text-align: center;">事業の実施内容</p> <p>※できるだけ具体的に記入してください。</p>	<p>本年度は2回に分けて開催を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回は説明会ということで、「ポタジェとは？」から始まり、全体的な考え方や作り方、土作りや栽植などの話を交えた。 <p>最後は実際のはまかぜ菜園を元に、どのような構成にしたいかをワークショップ形式で描いてもらい、それらをシェアしながら菜園作りへの関心を高めてもらえるような会を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回は水曜 Gr. と日曜 Gr. にそれぞれ分かれて、勉強会及び実際の菜園の基礎づくりを行い、座学だけではなく体を動かしながら畑作業や DIY などに取り組んでもらい、より理解を深めてもらえることを目指した。 <p>具体的には溝を掘ってそこにチップを敷き込んで道を作ったり、木材や竹をノコギリなどで切って花壇を作ったり、立体的な面白い形の菜園を作ったりして、最後はお花の苗を植えたりと色々な体験や学びが得られるような工夫を加えた。</p>
<p style="text-align: center;">事業の参加者等</p>	<p>まだ未就学のお子さんから 70 代のお年寄りまで、幅広い年齢層の方にご参加いただくことができました。</p>
<p style="text-align: center;">実施日程等</p>	<p>第一回の勉強会は12月に2回に分けて実施。</p> <p>第2回の実習講座は2月～3月の中で、水曜クラスと日曜クラスでそれぞれ4回ずつの計8回にわたり実施。</p> <p>ちょうど最後は菜園全体が完成させて花も植えることができたため、日程のバランスとしては最適だったと考えられる。</p>

収 支 決 算 書

協働推進事業費
(総事業費)

_____ 349,000 円

(収 入)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	233,000	233,000	市の支出金
B 参加者負担金	80,000	116,000	参加者 1,000 円 x38、 2,000 円 x39 人
C			
D			
E 収入合計額 (A+B+C+D)	313,000	349,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支 出)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
F 人件費	210,000	173,000	別紙参照
G 謝金			
H 旅費交通費	3,000	15,000	主にガソリン代 (準備 x12 回)、チップ運搬、竹伐採、等
I 通信運搬費	2,000	0	
J 印刷製本費	34,000	32,850	提出資料用、プリント代
K 消耗品費	40,000	100,380	農具、木材、苗、工具、チップ、等
L 賃借料			
M 一般管理費	24,000	27,770	
N 支出合計額 (F から M まで)	313,000	349,000	

協働事業評価書

事業名	(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設「はまかぜ菜園」等管理運営事業
団体名	半農半xを楽しむ会
担当課名	青少年課体験学習センター

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標 各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

平成31年1月に開館する茅ヶ崎公園体験学習センターの「はまかぜ菜園」において行う土や植物に触れる機会を通じて、新たな気づきや楽しさを知ること、生きがいつくりやあらゆる世代の交流を促進する。

活動指標(サービスやイベントなどの実施内容)	対象者等	目標値	結果
基礎講座、土づくり・種まき等の実践講座	子どもから高齢者まで あらゆる世代	12回	10回実施

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
フィードバック調査(アンケート、ヒアリング)	参加者	満足度 80%以上

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価 各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

	5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
	4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
	3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
	2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
	1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	—	—
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	従来の貸し農園等にはないポタジェ菜園や無施肥・無農薬での野菜作りを実施することは、我々が持つ個性が生かされると考えるため。	本事業が市民活動団体が持つ専門的な知識(たんじゆん農法)を活用できるため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうであると感じますか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	施設のコンセプトでもある子どもから高齢者までの交流ができ、共に楽しく学びながら実践できる機会が得られるため。	事業企画の立案の段階から目的や情報が共有できることで、事業のブラッシュアップが行われ、より魅力ある事業を創り上げることができるため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

期末評価

期末評価について 各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、
に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
最終評価	B 左のA～Eを記入	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由や根拠などを記入してください	参加者とともに座学から菜園の基礎づくりの実習までを行い、体験を通して学びながら参加者のみなさんとともに菜園の基礎まで作ることができたため。また、体験学習施設の魅力を存分に生かし、幅広い多世代の方々のコミュニケーションやつながりを生むことができた。	

事業内容の評価

事業目的目標達成度		評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	3	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
事業スケジュール		評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	3	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
事業手法の妥当性		評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	↑ 1点から5点を記入	4
			↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	我々では届かない顧客層に広報され、まさに狙い通り子どもからお年寄りまでが参加され、それぞれに見合った形で協力関係が構築できた。	↑ コメントを記入してください	行政に不足している専門性・知識を補い、事業者のノウハウにより参加いただいた市民の方のご満足いただけるような菜園を作ることができた。 ↑ コメントを記入してください
市民(受益者)満足度		評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	3	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	アンケートでも満足された反応を伺うことができたことに加え、直接色んな感想やご意見を伺い、新しい取り組みに関する満足度を実感することができた。	↑ コメントを記入してください	参加者の声から、畑作りに興味がある市民が多く、菜園の知識を学ぶことと実際に基礎作りの体験が両方できた点にご満足いただいているため。 ↑ コメントを記入してください
事業内容の総合評価		評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	↑ 1点から5点を記入	4
			↑ 1点から5点を記入
予算の妥当性		評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	3	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
最終評価	C	A: 十分達成できた B: ほぼ達成できた C: 課題も残ったが概ね達成できた D: あまり達成できなかった E: ほとんど達成できなかった	
最終評価の理由を記入してください	左のA～Eを記入	体験学習施設の事業としてふさわしく、市民と市民団体と市が協働で菜園をつくりあげるための基礎をつくることができた。また、施設が1月にオープンし、施設を市民の方と利用することで施設を知ってもらうことにつながったと考える。2年目は、これまで参加いただいた方と、新規の方も含め継続的に参加していただけるような仕組みづくりが課題であると考える。	

行政提案型 2 郷土資料デジタルライブラリー推進事業
(特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット・図書館)

協働推進事業実績報告書

平成31年3月31日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット
代表者氏名 代表理事 小林 信武



平成30年度行政提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	郷土資料デジタルライブラリー推進事業
担当課名	茅ヶ崎市立図書館
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度5月から6月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

<p style="text-align: center;">事業の実施内容</p> <p>※できるだけ具体的に記入してください。</p>	<p>本事業は、図書館の郷土資料などの貴重な資料の活用について、協働で事業を実施することにより、資料のデジタル化やインターネット上での公開により資料の保存と利用を両立させるという事業目的で実施した。</p> <p>実施内容</p> <p>(1) デジタル化する資料の選定およびそのためのワークショップの開催と選定資料のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月、5月と2回に渡り、慶應義塾大学 田村、池谷両先生のご指導の下企画会議開催 ● 6月17日 資料選定ワークショップ ● 選定した資料をスキャンしてデジタル化 <p>(2) デジタル化した資料を保存・閲覧するためのホームページの企画・設計・構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタルライブラリーホームページの構築と公開 ● その後の改良と運用 <p>(3) デジタル化した資料を活用したワークショップおよびシンポジウムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月17日 体験セミナー ● 1月19日 活用ワークショップ ● 3月16日 シンポジウム <p>(4) その他上記業務に関連、付随する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト管理 ● 各種広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 広報ちがさき ➢ ハーモニアスちがさき 2月2日号で特集 ➢ ジェイコム湘南ディリーニュースで事前告知、報道 ➢ メディアへのプレスリリース ➢ 各市民団体等関心をもつ市民へちらし配布
<p style="text-align: center;">事業の参加者等</p>	<p>茅ヶ崎市教育推進部図書館 小原、太田、石津 湘南ふじさわシニアネット 影浦、小林、瀬下、松本、山本、板津</p>

<p>実施日程等</p>	<p>平成30年4月～5月 全体企画、デジタル化資料選定ワークショップ計画 2回に渡り、慶応義塾大学 田村先生、池谷先生にも出席 いただき企画会議開催</p> <p>平成30年6月17日 デジタル化資料選定ワークショップ 郷土資料の選定テーマが固まる</p> <p>平成30年6月～8月 ホームページ的设计、選定した郷土資料スキャン</p> <p>平成30年9月～11月 ホームページの構築とデジタル化した郷土資料の アップロード</p> <p>平成30年11月17日 体験セミナーでデジタルライブラリーを公開</p> <p>平成30年11月～31年1月 ホームページを改善</p> <p>平成31年1月19日 郷土資料活用ワークショップ開催</p> <p>平成31年3月16日 シンポジウム開催、「図書館の冒険」のテーマで慶應義 塾大学 田村先生に講演していただく</p> <p>平成31年2月～3月 評価書作成、次年度計画の検討、実績報告書の作成</p> <p>平成30年4月～平成31年3月 毎月の定例会議でのプロジェクト管理 4月10日、27日、5月16日、6月6日、26日、7月10日、8月2日、29日、 9月21日、10月10日、11月9日、30日、12月19日、1月25日、 2月14日、3月5日、22日</p>
--------------	---

収 支 決 算 書

協働推進事業費

(総事業費)

1,640,000 円

(収 入)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	1,640,000	1,640,000	市の支出金
B			
C			
D			
E 収入合計額 (A+B+C+D)	1,640,000	1,640,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支 出)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
F 人件費	1,261,000	1,257,390	プロジェクト管理 97.5 工数×1620 円=157,950 円 企画及びデジタル化資料選定 126 工数×1620 円=204,120 円、 資料スキャン 194 工数×1080 円=209,520 円 ホームページ要件整理、設計・開発・テスト・運用 219 工数×1620 円=354,780 円 ワークショップ/シンポジウム 企画・まとめ 83.5 工数×1620 円=135,270 円 運営 54.5 工数×1080 円=58,860 円 ちらし作成 84.5 工数×1620 円=136,890 円
G 謝金	100,000	120,000	企画会議謝礼 2 人×2 回×10000 円=40,000 円 デジタル化資料選定ワークショップ 2 人×10000 円=20,000 円 体験セミナー 1 人×10,000 円=10,000 円 活用ワークショップ 2 人×10,000 円=20,000 円 シンポジウム 講演 20,000 円 アドバイス 10,000 円
H 旅費交通費	44,000	62,192	プロジェクト管理 13,656 円 その他 48,536 円
I 通信運搬費		2,310	市民団体、大学へのちらし郵送

J 印刷製本費	30,000	26,279	選定ワークショップちらし 4,570 円 郷土資料デジタルライブラリーちらし 4,520 円 体験セミナーちらし 4,405 円 活用ワークショップちらし 4,590 円 シンポジウムちらし 4,520 円 イベント資料印刷代 3,674 円
K 消耗品費	18,000	13,651	プリンターインク代、用紙代、事務用品 13,651 円
L 賃借料	38,000	40,047	サーバー・ドメイン・ソフトウェア代 40,047 円
M 一般管理費	149,000	118,131	上記合計 1,521 千円×約 8%
N 支出合計額 (F から M まで)	1,640,000	1,640,000	

協働事業評価書

事業名	郷土資料デジタルライブラリー推進事業
団体名	特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット
担当課名	教育推進部図書館

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標 各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

郷土資料など貴重な資料をデジタル化し、インターネット上で公開することにより、資料の保存と利用を両立させる。利用者はどこにいても来館者と同様のサービスが受けられる。更に、郷土資料の収集・保存・利用を通じて、茅ヶ崎市の文化を守り育て、地域におけるさまざまな学びを発展させていく。

活動指標(サービスやイベントなどの実施内容)	対象者等	目標値	結果
<ul style="list-style-type: none"> デジタル化する資料選定のためワークショップの開催 選定資料のデジタル化 デジタル化した資料を保存するためのホームページ構築 デジタル化した資料を使ったワークショップの開催 シンポジウムの開催 	茅ヶ崎市民	<ul style="list-style-type: none"> ・1回 ・300枚以上 ・構築 ・2回 ・1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回 ・約400枚 ・構築済み ・2回 ・開催

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
郷土資料活用ワークショップでのアンケート結果	ワークショップ参加者	“役に立った”が60%以上であること 98%の方が“良かった”と回答

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗しているか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	資料提供、著作権処理は図書館で、資料のスキャン、ホームページ制作はSFSで、ワークショップは相互の協力です、協働でうまく進行している。 ↑ コメントを記入してください	郷土資料に関心のある団体の興味を喚起し、ワークショップを通じてつながりができた。また、職員の事務負担や費用対効果からみても、委託では実現が難しく、協働という事業手法の有用性を感じている。 ↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	テーマ選定ワークショップに、ほぼ定員の19名の方が参加され、アンケート結果では、81%の方が良かったと回答	6月に開催したワークショップの参加者アンケートでは、8割以上が「良かった」「まあ良かった」と回答していることから、デジタルライブラリー公開に対する期待の高さが伺える。 ↑ コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価

A

左のA～Eを記入

A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた
D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった

最終評価の理由や根拠などを記入してください

郷土資料の提供を著作権処理も含めて図書館側が行い、団体は資料のスキャン、システムの構築やワークショップ、シンポジウムの企画と役割分担ができた。
また、頻りにプロジェクト会議を行い、双方の意思疎通が十分できた。

事業内容の評価

事業目的目標達成度		評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	5	↑ 1点から5点を記入	4
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	5	↑ 1点から5点を記入	4
事業スケジュール		評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	5	↑ 1点から5点を記入	4
事業手法の妥当性		評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5	↑ 1点から5点を記入	5
そのように感じる理由を記入してください→	お互いの得意分野の力を十分に発揮できた。	↑ コメントを記入してください	イベントの企画・運営だけでなく、CATVでの広報やチラシの作成、イベント用の機材等調達においても団体の強みを生かしていただいた。委託では実現が難しく、協働という事業手法の有用性を感じている。 ↑ コメントを記入してください
市民(受益者)満足度		評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4	↑ 1点から5点を記入	4
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4	↑ 1点から5点を記入	4
そのように感じる理由を記入してください→	各イベントのアンケート調査で、参加者から高い評価をいただいた。	↑ コメントを記入してください	各イベントが市民ニーズや意見を収集する趣旨であることを念頭に置いて取り組めた。また、イベント後の振り返りも行った。 ↑ コメントを記入してください
事業内容の総合評価		評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	5	↑ 1点から5点を記入	4
予算の妥当性		評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	4	↑ 1点から5点を記入	5
最終評価	A	A: 十分達成できた B: ほぼ達成できた C: 課題も残ったが概ね達成できた D: あまり達成できなかった E: ほとんど達成できなかった	
最終評価の理由を記入してください	資料の選定、スキャン、システムの構築、そして、ワークショップ、シンポジウムの開催など、ほぼスケジュール通り達成できた。アンケート調査では、参加した市民の方々からも高い評価をいただいた。また、アドバイザーとしてお願いした慶應義塾大学の田村先生、池谷先生に多大なるご協力をいただいた。		

平成30年度に2年目として実施

市民提案型 3 ハマミリーナ魅力UP大作戦
(特定非営利活動法人まちづくりスポーツ茅ヶ崎・文化生涯学習課、福祉政策課)

協働推進事業実績報告書

平成31年4月22日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 特定非営利活動法人

まちづくりスポット茅ヶ崎

代表者氏名 益永律子、内野俊樹



平成30年度市民提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業名称	ハマミーナ魅力UP大作戦
担当課名	文化生涯学習課、福祉政策課
事業内容等	<p>【目的】 ハマミーナに関する情報発信と利用者同士の交流の場づくりを通じて市民自らが施設の魅力を発見するとともに、市民と行政が連携し、より使いやすく愛される環境を整える。</p> <p>【概要】 <u>作戦1. 「ハマミーナ総合案内」業務の実施</u> 来館者からの各フロアや地域情報に関する問合せ&相談対応。 受付業務日数：245日/年 情報提供件数：3,901件/年</p> <p><u>作戦2. 「ハマミーナ探検隊」の実施</u> 施設全体や周辺地域の見学イベント。各フロアを見る・歩く・知る。 実施回数：3回/年 参加者数：計53名</p> <p><u>作戦3. 「ハマミーナ交流会」の実施</u> 新しい仲間づくりや施設をより良くするアイデア交換の場。 実施回数：2回/年 参加者数：計80名</p> <p>【今後の展開】 平成31年度4月～茅ヶ崎市委託事業として継続実施。</p> <p style="text-align: right;">詳細は、「協働推進事業実施結果」のとおり</p>

協働推進事業実施結果

事業の実施内容	<p>【背景】</p> <p>茅ヶ崎市南西部の中心にある浜見平は、現在まちが大きく変わっています。</p> <p>昭和39年(1964年)に浜見平団地が完成し、55年が経過しました。施設の老朽化はもとより、少子高齢化や防災機能の低下などの課題を解決するために、大規模な建て替えを中心とした新たなまちづくりが進行中です。</p> <p>そして、地域においてエリアを横断的にマネジメントする機能が求められ始めたため、当法人は平成27年(2015年)4月より、BRANCH茅ヶ崎2階にある交流スペース「まちスポ茅ヶ崎」で地域や世代をつなぐための交流の場や機会をつくり、コミュニティの醸成に取り組んでいます。</p> <p>【施設概要】</p> <p>ハマミーナは市民のコミュニティを育む生活拠点として、茅ヶ崎市初の公民連携の手法により、平成27年(2015年)4月に開業しました。市民の普段の生活を便利にする機能が盛りだくさんで、民間事業者が所有するBRANCH茅ヶ崎内にあります。</p> <p>「茅ヶ崎市南西部複合施設」として、6課（市民課、保育課、文化生涯学習課、福祉政策課、高齢福祉介護課、図書館）により運営されています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 5%;">階</th> <th style="width: 95%;">フロア名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>茅ヶ崎市役所ハマミーナ出張所、茅ヶ崎市立浜見平保育園 ボランティアセンター湘南「ハート&ハート」、情報展示室 湘南地区地域包括支援センターすみれ、福祉相談室すみれ 総合案内、管理室</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>ハマミーナまなびプラザ（会議室・調理室・音楽室・フリースペース） 茅ヶ崎市立浜見平保育園地域育児センター、ハマミーナ図書室</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>ハマミーナまなびプラザ（体育室）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【協働で目指したこと】</p> <p>まちの再開発が進み、これまで存在していた商店会や地域の拠り所が消失して住まいが変わるなど、長く生活してきた人のベースが様変わりしつつある一方、このまちに魅力を感じ新しく移り住む人も多くいることから、「コミュニティの再構築」に、地域住民と各分野の組織が直面しています。</p> <p>当法人と担当課にできることは、ハマミーナの機能を高め「住民が感じる地域課題を6課へつなぎ、課題解決に向けること」、生涯を通じて生きがいを感じられるまちづくりをするために、「複合施設の強みを活かし、福祉・生涯学習・子育て・防災などの全方向分野を斜めにつなぎ、地域の方が受益を実感できるものにする」と考え以下、3つの作戦を実施しました。</p>	階	フロア名	1	茅ヶ崎市役所ハマミーナ出張所、茅ヶ崎市立浜見平保育園 ボランティアセンター湘南「ハート&ハート」、情報展示室 湘南地区地域包括支援センターすみれ、福祉相談室すみれ 総合案内、管理室	2	ハマミーナまなびプラザ（会議室・調理室・音楽室・フリースペース） 茅ヶ崎市立浜見平保育園地域育児センター、ハマミーナ図書室	3	ハマミーナまなびプラザ（体育室）
階	フロア名								
1	茅ヶ崎市役所ハマミーナ出張所、茅ヶ崎市立浜見平保育園 ボランティアセンター湘南「ハート&ハート」、情報展示室 湘南地区地域包括支援センターすみれ、福祉相談室すみれ 総合案内、管理室								
2	ハマミーナまなびプラザ（会議室・調理室・音楽室・フリースペース） 茅ヶ崎市立浜見平保育園地域育児センター、ハマミーナ図書室								
3	ハマミーナまなびプラザ（体育室）								

作戦1.「ハマミーナ総合案内」業務の実施

受付業務（問合せおよび相談対応、対応記録集計・ニーズ分析他）
 情報提供（ハマミーナまなびプラザ開催イベントや地域情報を記載した
 カレンダー形式のイベントボードを毎月作成・掲示）

場所：ハマミーナ1階入口

日数：年間245日 *平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)

時間：平日9:00～17:00

【件数】

合計：3,901件/年（前年比+411件）

フロア名	件数	前年比
茅ヶ崎市役所ハマミーナ出張所	1,452	+140
ボランティアセンター湘南「ハート&ハート」	68	+5
湘南地区地域包括支援センターすみれ&福祉相談室すみれ	136	+45
ハマミーナ図書室	184	+24
茅ヶ崎市立浜見平保育園&地域育児センター	124	+14
ハマミーナまなびプラザ	851	+125
BRANCH茅ヶ崎全般	834	+86
市南西部地域	108	-16
その他	139	-12

【施設の利便性と利用者の満足度向上に向けたアプローチ（一例）】

	内容
Q	1階入口横に公衆電話利用やタクシーを待つ際に腰を掛ける椅子がほしい。
A	文化生涯学習課と協議し、椅子2脚を設置。利用者・施設職員からは「よかった」との声が多数寄せられた。以前、1階通路に3～4人掛けチェアが設置されていた際は子どもが休日に飲食等で占有することが多く、安全面を理由に撤去された経緯があった。今回は特定の人物が占有するなどのトラブルも見られず、ご年配の方、お子様連れの方にとって使いやすい環境となった。

	内容
Q	出張所や図書室など、年末年始の開館日を知りたい。
A	全フロアの情報を一元的に把握し情報発信する担当課や媒体がないことから個別にヒアリングして情報をストック。そして、①総合案内に設置しているカレンダー形式のイベントボードに記載、②まちぼっち通信（当法人が毎月1日に約2,000部発行するフリーペーパー）に掲載するなど情報提供方法を工夫し、地域の人が必要としている情報を届けた。

【来館者アンケート】

回答：計59名

「総合案内が利用しやすい(利用しやすくなった)」 88% (53名)

「ハマミーナを利用する頻度が増えた」 59% (35名)

期間：平成31年3月18日(月)～4月5日(金)

総合案内へのコメント

内容	性別	年代	住まい
受付の方々の対応がとてもよいです	女性	60代	中島
相談の窓口になって頂いて助かります	女性	80代	柳島海岸
参考意見として種々聞かせて下さるので有難いと思っております	—	80代	浜見平

施設全体へのアイデアや意見

内容	性別	年代	住まい
皆さん施設をきれいにお使いですが、市役所がお休みの時は1Fにテーブルとイスをおいてももっとくつろいでいただける場がほしいところです	女性	50代	中島
図書館の自習スペースがより多く必要	男性	30代	—
月一程度卓球開放をして欲しい	男性	60代	浜見平
子どものあそびばをもっと増やしてほしい	女性	30代	東海岸北
施設に対して駐車場、駐輪場が少なすぎる。できれば現在の5倍は必要	男性	50代	—
シャワー室があると良い	男性	20代	浜見平
女子トイレに子ども用のシートがあると良いです	女性	50代	—
健康的な運動のセミナー等がほしい	男性	70代	浜見平
もうすこし子どもが楽しいところを作ってほしい	女性	10代	南湖

【総括】

「コンシェルジュ」のように情報を複合的に提供し、人間味のあるコミュニケーションで利用者の満足度を高めることができました。問合せ内容が専門的な市政情報に及ぶこともあり、当初は声を受け止めること、正確な情報を伝えることの難しさも感じましたが、スタッフが常に広報ちがさき等で最新情報を積極的に収集して提供するなど、日々スキルアップして取り組みました。さらに、相談や問合せが宙に浮くことがないように、担当課とのタイムリーな情報共有や、集まる質問の傾向などを月次報告書にまとめて6課にフィードバックするなど、各フロアが市民サービス向上に努めながら、一体感を持って施設運営できるような工夫もしました。

作戦2.「ハマミーナ探検隊」の実施

内 容：施設全体や周辺地域の見学イベント。各フロアを見る・歩く・知る。

場 所：ハマミーナ、しろやま公園ほか

回 数：計3回

参加者：計53名

※回数は前年度からの通算回数を記載

	第2回	第3回	第4回
日時	6月23日(土) 12:00～13:00	9月17日(月) 13:30～14:30	12月19日(水) 10:00～12:00
団体 名称	室田いきいきクラブ	茅ヶ崎市政策コンテ スト参加者メンバー	学校法人平和学園 平和小学校
参加 者数	23名 小学生2名、大人21名	18名(高校生・大学生 12名、大人6名)	12名(小学生10名、 大人2名)
年代	10代、60代、70代	10代、20代、30代、60代	8～9歳、30代
目的	松林地区コミュニテイ センターを設置する場 合の参考にする	政策立案コンテストに 伴うまち歩き	小学校3年生児童の 社会科学習として

【参加者の声】※第2回は口頭

～第2回～

「音楽室で約60名を集客するコンサートを開催したい」(その場で利用登録)

「1階の授乳室設置を始め、施設の作り方がお役所っぽくなく便利で良い」

「まるで茅ヶ崎の副都心。2020年商業施設完成が楽しみ。もっと長生きしなきゃ」

「市の財政を考えると松林地区に全く同じ施設を作ることはできないと思うが、市の財産であるこの施設を利用したいし、私たちの地区でも参考にしたい」

～第3回～

「浜見平地区に関する地域特性についてご案内いただき、誠にありがとうございました。9/8(土)にキックオフを迎え、現在、各チーム目指すまちのビジョンを掲げ、10/7(日)の中間報告に向けて政策立案に取り組み始めたところです。まちスポ様を中心に、地域住民や民間のお力を主体に、行政が連携して行うまちづくりについて、大変貴重なお話をお伺いできたと思っております。多大なるご尽力、本当にありがとうございました。」(市企画経営課)

～第4回～

「ハマミーナを、見学させてくれて、ありがとうございます。とても楽しかったです。とてもやさしくしてくれて、うれしかったです。ランチ1の、なかでとてもびっくりしたのは、ちいきいくじセンターでした。まだ、幼稚園にかよってないけれどあずかって、もらえるなんて、びっくりです。また、ハマミーナに行きたいです。」

「ハマミーナの見学をさせてくれて本当にありがとうございました。またいつかハマミーナに行きたいです。ハマミーナは、赤ちゃんからお年寄りまでこれる所で、すごくべんりで楽しくてやさしいです。」

「ハマミーナ図書室さんへ ありがとうございます。楽しかったです。本がたくさんありました。また行きたいです。本当にありがとう。」

「社会科見学の時はありがとうございます。ランチ3のできあがりを楽しみにしています」

「ハマミーナをもういちどいきたいです。マナブーを見つけたのがたのしかったです。いろんな物があってドリーもいました。ハマミーナはいいところです。」

「ハマミーナを見学させていただいてありがとうございました。色々な施設があつて、とっても便利で、頼りになる場所でした。もし家の近くにあったら、行きたいです。とっても楽しかったです。また行きたいです。」

「ハマミーナには体育室や音楽室などの公きょうしせつや、スーパーマーケット、レストランなどのお買い物ができる場所などもあつてとてもべんりですてきな所でした。」

「ぼくはハマミーナを見て店や施設があつて、べんりな場所だと思います。ぜひまた行きたいです。」

「12月はありがとうございました。いつもおいそがしいですか？としょかんやたいいくしつや音楽しつ、ハート&ハートなどすごくべんきょうになりました。ほんとうにありがとう。またまちスポに行きたくなりました。とおくでも学校でおうえんをします。これからがんばってください。」

「すごく楽しかったです。もう一回行きたいです。BRANCH3も行きたいです。ハマミーナは学校みたいでした。とてもべんりでした。次また来たら、よろしく願いいたします。」

【総括】

参加者それぞれが日々の生活や自分が暮らす地区にヒントを持ち帰るべく、とても熱心に見て聴いて、話していました。事業計画では年1回の開催でしたが、子どもから大人まで幅広い年代のグループからリクエストをいただいたので、計3回実施しました。このため平成31年度委託事業では、1年を通して広く参加グループを募集して、市内自治会やサークル等、グループ単位からのリクエスト制により季節問わず行うことを検討したいです。希望日時の調整や重点的な見学ができるようになる他、実施後の市内各地への波及効果も大きいと感じています。

作戦3.「ハマミーナ交流会」の実施

内 容：新しい仲間づくりや施設をより良くするアイデア交換の場。

場 所：ハマミーナまなびプラザ（会議室・調理室・音楽室・体育室）

回 数：計2回

参加者：計80名

※回数は前年度からの通算回数を記載

	第3回		第4回		
日時	9月8日(土)10:00～12:00		3月17日(土)10:00～12:00		
内容	プチ見学ツアー防災編	全体	施設見学&体験ツアー	全体	
	マッピングワークショップ 仲間づくりコーナー フリースペース 団体紹介チラシコーナー 浜見平開発パネル展示	会議室	ハマミーナ魅力発見コーナー おしゃべりコーナー チラシコーナー	会議室	
	まなびプラザ自由開放	調理室	食育講座見学	調理室	
	まなびプラザ自由開放	音楽室	ピアノ体験等	音楽室	
	まなびプラザ自由開放	体育室	運動体験講座	体育室	
	参加者	計30名		計50名	
	年代	30代、40代、50代 60代、70代、80代		30代、40代、50代 60代、70代、80代	
住まい	浜見平、南湖、中島、円蔵		浜見平、南湖、柳島、柳島海岸 中島、中海岸、東海岸、若松町 共恵、円蔵、松が丘、藤沢市		
満足度	4.3 / 5段階		4.4 / 5段階		
協力	大和リース㈱ ※施設運営会社		Cheerful ※体育室体験講座講師		
備考	参加費無料・当日参加OK		参加費無料・当日参加OK		

【総括】

第3回：「施設の防災機能について知りたい」（平成29年度ハマミーナ探検隊）という声があったため、施設運営会社に協力を依頼し、津波一時退避場所の機能を知る見学ツアーを企画に組み込みました。また「まなびプラザの自由開放デーがあると良い」（平成29年度ハマミーナ交流会）という声も実現しました。

第4回：施設の活用イメージがさらに膨らむように、実際に体験したり見学したりできる企画を実施しました。市内各地から幅広い年代の人たち、特に引っ越しなどで初めてハマミーナに来館した参加者もいたため、浜見平地区の開発状況を交えながら、施設の設置目的や特性を共に学び伝え合う機会にできました。

【参加者の声（アンケート抜粋）】※第3回 ハマミーナ交流会

ハマミーナ交流会について

内容	性別	年代	住まい
とても参考になりました。防災の事改めて考えました	—	70代	浜見平
家の中にとじこもっていたけど外に出ているいろいろ体験させて下さって勉強になりました	女性	70代	浜見平
交流会を通じて、ハマミーナの施設や役割をあらためて知ることができて良かった	女性	40代	南湖
又開いてほしい（家に1人で居るので）	—	60代	浜見平
はじめて知りました	—	80代	浜見平
今後参加させて頂きたいと思いました	女性	70代	中島

ハマミーナについて（知りたいこと、もっとこうなったらいいなと思うこと）

内容	性別	年代	住まい
よく利用させてもらっています。知らない人にも知らせてあげたい	—	70代	浜見平
備蓄品の試食会をやりたいです。	女性	40代	浜見平
思っていたよりも、しっかり備蓄がされていたこと。（災害時）南湖地域の方が利用できるイメージが少ない気がします	女性	40代	南湖
住んでいるのは主婦、高齢者だけでなく働いている人もたくさんいるので土日のイベントも増やしてほしい	—	50代	浜見平

ご自由にどうぞ（よかったこと、気がついたこと、今後に期待することなど）

内容	性別	年代	住まい
防災グッズ 2020年が期限なので試食会をしてほしい	—	70代	浜見平
自家発電室の定期的な稼働試験を行ってほしい	男性	30代	浜見平
3階体育室を利用中なので非常口など知ってよかった	男性	70代	浜見平
アレルギー対応の非常食もおいて欲しい	女性	40代	浜見平

情報展示室スペース活用のアイデア

内容	性別	年代	住まい
ギャラリーや作品展のようなイメージです。	男性	30代	円蔵
高齢者と若いお母様方、子供達、色んな年齢の人達が一緒につどえる場になればと思っています。	—	60代	南湖
鬼瓦のみそとかの販売をしてほしい	女性	40代	浜見平

【参加者の声（アンケート抜粋）】※第4回 ハマミーナ交流会

ハマミーナ交流会について

内容	性別	年代	住まい
母が茅ヶ崎に引越して来たばかりなのでよかったです	女性	40代	柳島
ここまで活発に交流されてることに驚き感心しました	—	50代	南湖
ニコニコと秦野さんが丁寧に説明下さり分かりやすくて良かったです	女性	40代	共恵
ハマミーナ施設の利用法及び色々なことがわかりやすく説明していただきました	男性	70代	浜見平
説明がくわしく分かりやすかった	女性	60代	浜見平
みんなが納得できるような説明でよかった	女性	80代	—
地域の人達とつながり楽しみです	女性	60代	柳島海岸
とてもいねいでした	女性	70代	円蔵
すべて素晴らしかった	—	80代	—

ハマミーナについて（知りたいこと、もっとこうなったらいいなと思うこと）

内容	性別	年代	住まい
これからもっと自由に楽しく利用したいと思いました	女性	60代	浜見平
親子でできる体操とかもあるといい！！	女性	40代	松が丘
高齢の人向け講座やスポーツなど	女性	40代	柳島

ご自由にどうぞ（よかったこと、気がついたこと、今後に期待することなど）

内容	性別	年代	住まい
茅ヶ崎市と NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎の協働推進事業はとてもよいですね。それぞれの特色がとてもよいハーモニーを出していました	女性	60代	中島
ZUMBA に興味があったので見学できてよかった	女性	40代	共恵
市施設と周辺の相談等についても、身近で便利なのがわかりよかった	男性	70代	浜見平
とても良かったです。見学と体験ツアーは初めてです	女性	60代	柳島海岸

情報展示室スペース活用のアイデア

内容	性別	年代	住まい
動画が見られるように TV など置いて、茅ヶ崎市や浜見平の移り変わり等視られるようにしてもいいかなと思いました	—	50代	南湖

<p>事業の 参加者等</p>	<p>事業の実施内容 参照</p>
<p>実施 日程等</p>	<p><u>作戦1.「ハマミーナ総合案内」業務の実施</u> 平成30年4月～平成31年3月 受付業務</p> <p><u>作戦2.「ハマミーナ探検隊」の実施</u> 平成30年 4月～企画打合せ、資料・チラシ作成 6月 見学フロアとの事前調整（まなびプラザ、図書室） イベント開催 9月 見学フロアとの事前調整（まなびプラザ、図書室） イベント開催 12月 見学フロアとの事前調整 （まなびプラザ、図書室、地域育児センター、ボランティアセンター湘南） イベント開催 3月 ふりかえり</p> <p><u>作戦3.「ハマミーナ交流会」の実施</u> 平成30年 4月～企画打合せ、資料・チラシ作成 8月 広報（広報ちがさき8/15号、チラシ1,000部25ヶ所配架） 9月 広報（タウンニュース9/7号） 見学フロアとの事前調整（備蓄倉庫、自家発電室、非常用階段、管理室） イベント開催 10月 ふりかえり 12月～企画打合せ、資料・チラシ作成 3月 広報（広報ちがさき3/1号、タウンニュース3/15号、チラシ800部25ヶ所配架） 見学フロアとの事前調整（まなびプラザ、図書室） ふりかえり</p> <p>定期打合せ 平成30年4月～平成31年3月 合計10回実施（月1回程度）</p>

【写真】ハマミーナ魅力UP大作戦

作戦1：ハマミーナ総合案内



ハマミーナ外観



ハマミーナ総合案内

作戦2：ハマミーナ探検隊



6/23 見学の様子



6/23 見学の様子

作戦3：ハマミーナ交流会



9/8 会場の様子



3/17 会場の様子

茅ヶ崎市役所 ハマミーナ出張所

月～金 8時30分～17時

総合案内に寄せられる問合せ（例）

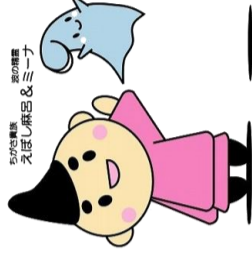
- ・ゴミカレンダーが欲しい
- ・小型家電リサイクルBOXはありますか
- ・母子手帳を取得したい

出張所へ
GO!

⇒

ワンポイントアドバイス

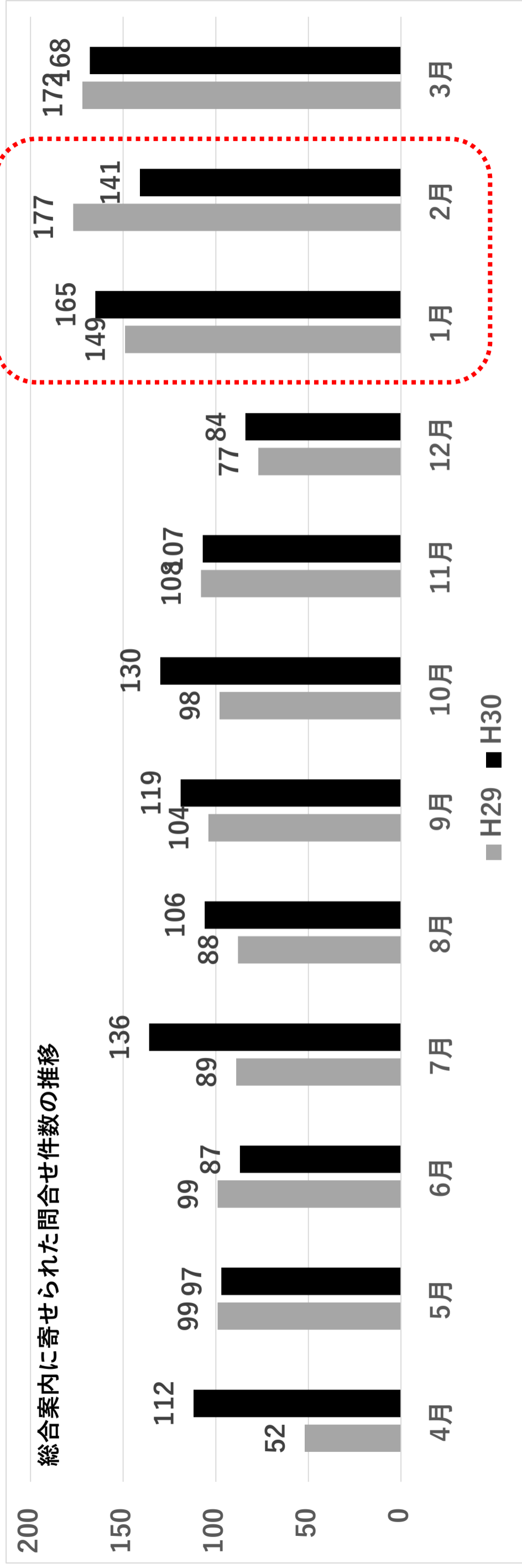
住民票の写し・戸籍・市税などの各種証明書の交付や、市税・保険料などの納付ができます。また、住民異動届や戸籍届出の受付、引越・婚姻・出産などのライフイベントに関する各種手続きも行っています。詳細はお問い合わせください。



CHECK!

新年になると、確定申告の問合せが増えるぞよ。広報ちがさきを読んで、最新の情報を確認すると安心ぞよ。

総合案内に寄せられた問合せ件数の推移



ボランティアセンター湘南ハート&ハート

月・火・水・金 9時30分～12時

総合案内に寄せられる問合せ（例）

- ・ボランティアできる場所を探している
- ・湘南地区MENデビューへの道に参加したい ⇒ ボラセンへ GO!
- ・情報展示室で写真展を開催したい

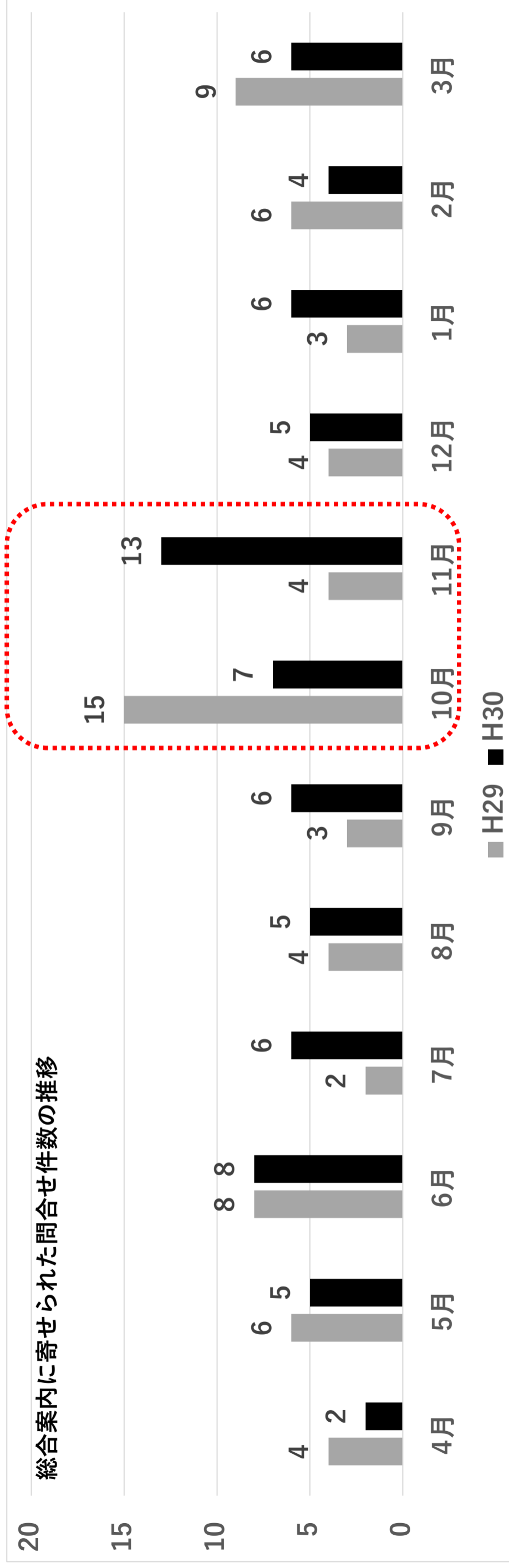
ワンポイントアドバイス

地域には、ちょっとしたお手伝いで、元気に暮らせる方もいらっしゃいます。ボランティアセンターでは、そのような方々のちょっとした困りごとなどを、同じ地域に暮らす人同士で支え合う活動をしており、お掃除やお話し相手、草むしりなど一人ひとりの気持ちに寄り添った支援をしています。「地域のために何かしたい」という想いのある方のボランティアも随時受付中です。



CHECK!

湘南地区(浜見平・松尾・柳島・柳島海岸・中島)に住む人が使えるボラセンだよ。囲碁将棋サロンの開催場所だから覚えておくだよ。



湘南地区地域包括支援センター・福祉相談室すみれ

地域包括 月～土 8時30分～17時 福祉相談室 月～金 8時30分～17時

総合案内に寄せられる問合せ（例）

- ・介護保険について相談したい
- ・身体が思うように動かなくなり今後が不安… ⇒ すみれへ GO!
- ・介護施設への入居を考えている

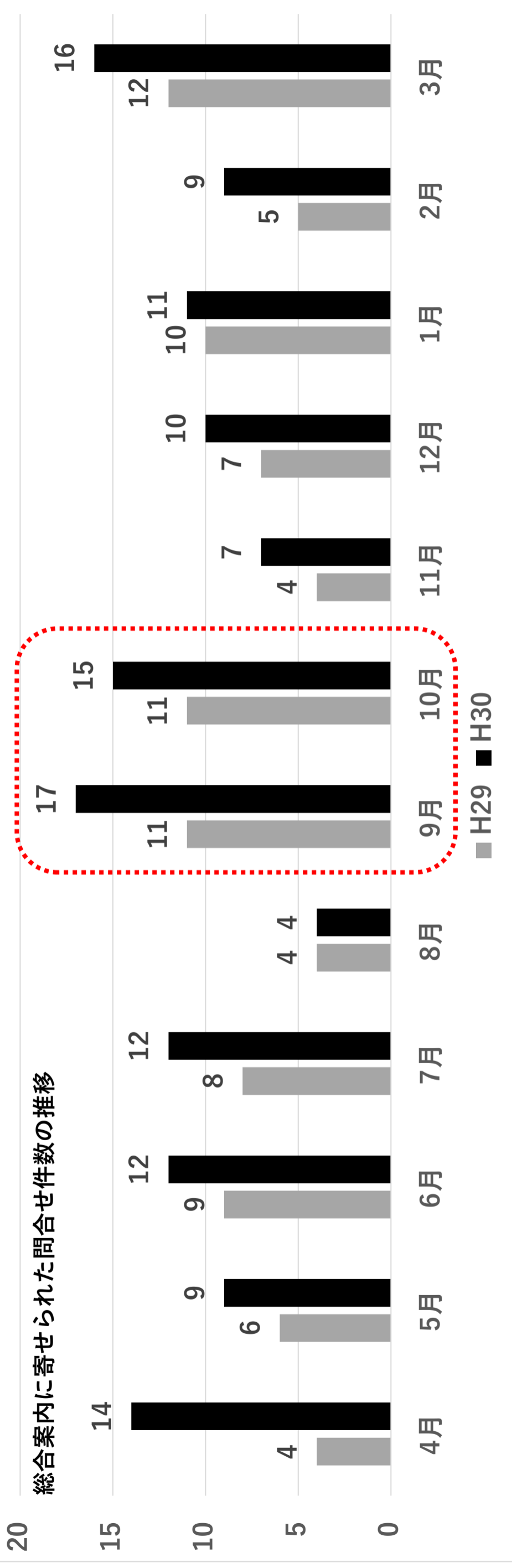
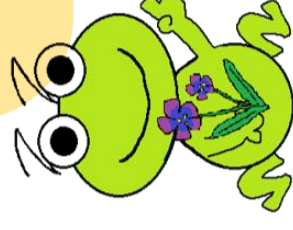
ワンポイントアドバイス

地域密着だからできることがある。地域のみなさまにとって安心して暮らせる街を作りたい。すみれでは笑顔の奥にそんな熱い気持ちを秘めた専門職スタッフがみなさんの相談に備えています。孤立・孤独を防ぐため、『みつける』『つなげる』『みまもる』をあいことばに、支援が必要な方と内容に応じた関係機関をつなぐ総合窓口です。独居、介護、子育てなど心配ごとがある時には、自動ドアをタッチ！



CHECK!

自分のこと、家族のこと、身の回りにいる誰か、
 ことが相談できるよ。
 事前に電話で連絡しておくと、スムーズな対応につながるかも!?



ハマミナーナ図書室

9時～21時 定休日：月（月が祝日の場合は翌平日）

総合案内に寄せられる問合せ（例）

- ・ 図書室はどこですか
- ・ 返却ポストはどこにありますか
- ・ 月曜日は休みなんですか

⇒ 図書室へ
GO!

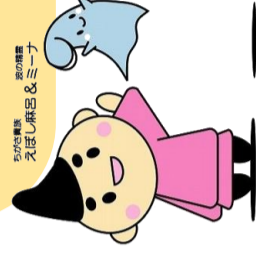
ワンポイントアドバイス

ハマミナーナ2階、南西角に位置するハマミナーナ図書室は、穏やかな日差しと景色が
 楽しめ、居心地の良いお部屋のようになっています。市内で唯一、夜21時
 まで開館している図書室なので、仕事帰りでも利用できるのがうれしいですね！毎
 月第2木曜日は小さい子向けのおはなし会を開催。また、市内の図書館（室）にあ
 る本ならなんでも予約、取り寄せができます♪

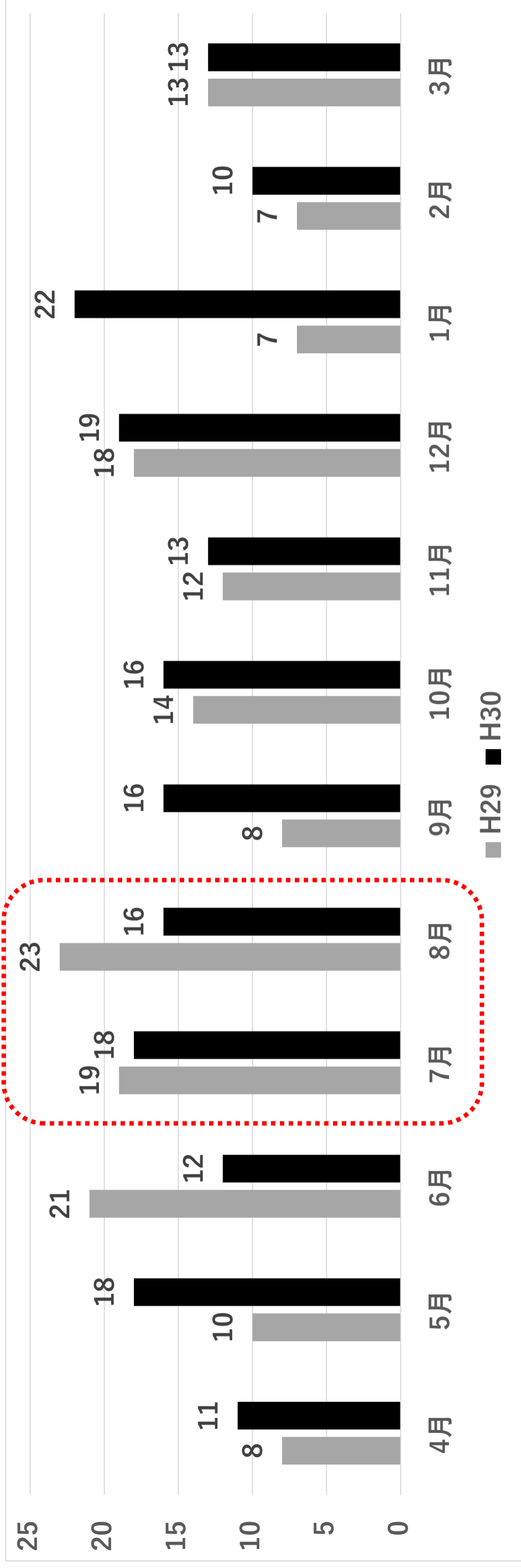


CHECK!

月曜日はお休みだよ。
 返却ポストは2階デッキ
 側にあるだよ。



総合案内に寄せられた問合せ件数の推移



浜見平保育園 & 地域育児センター

育児センター 月～金 9時～16時

総合案内に寄せられる問合せ（例）

幼児が遊ぶ場所があると聞いたのですが…

保育園に通っていないなくても園庭利用できますか

子どものお迎えに来ました

育児センターへ

⇒

GO!

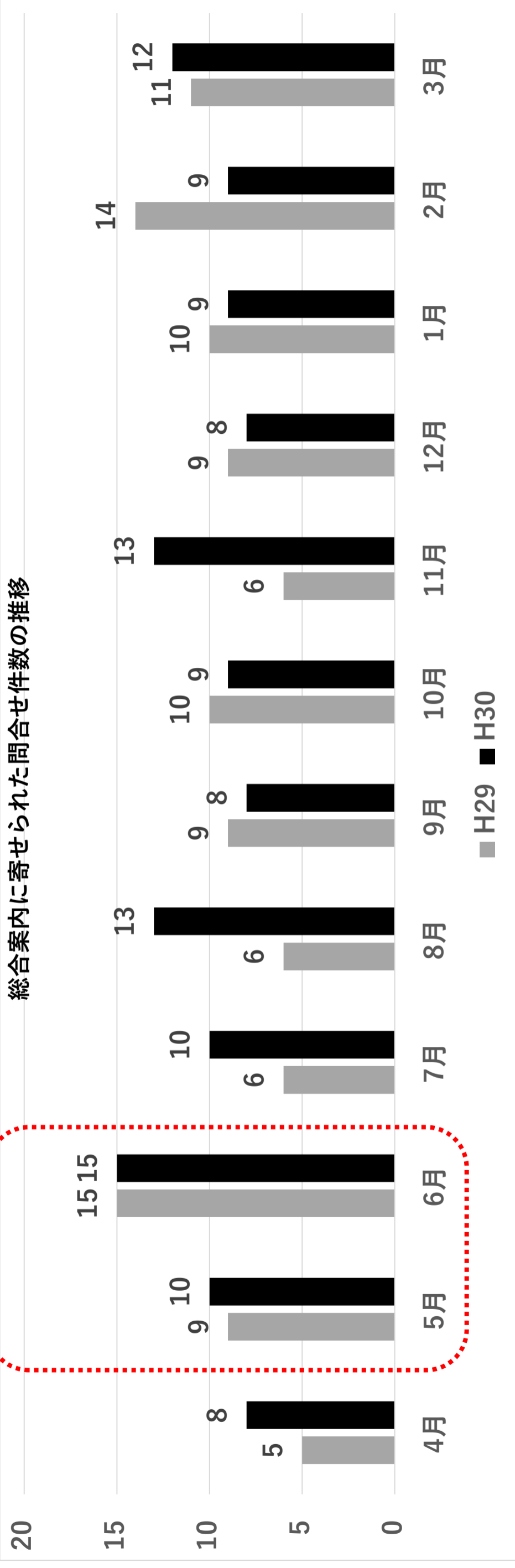
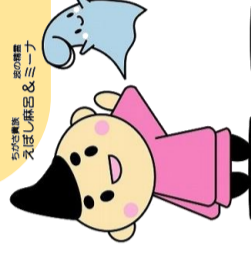
ワンポイントアドバイス

地域の方と一緒に野菜を育てたり、頂いた竹に七タかざりを飾ったりするなど、子どもたちがまちぐるみで育てられている様子が見られる浜見平保育園。園に併設された地域育児センターはフリースペースとして利用でき、親子でリラクセスしながら保育士さんに悩みを聞いてもらったり、園庭で自由に遊んだりすることもできます。園では一時預かりの保育の受付も行っていきます。



CHECK!

地域育児センターは、子育ての心強い味方の施設。水曜日は歩けない赤ちゃんが利用できる日ですよ。



ハマミナーナまなびプラザ (会議室、調理室、音楽室、体育室)

総合案内に寄せられる問合せ (例)

利用登録がしたい

○○講座に参加するために来ました

選挙の投票所はどこですか

まなびプラザへ

⇒

GO!

ワンポイントアドバイス

会議室はミーティングなどに利用できます。(定員30名)

調理室は調理実習などが行え、昇降式調理台が1台あります。洗剤や布巾、調味料、

ラップ類、ゴミ袋などの消耗品は持ち込みが必要です。(定員30名)

音楽室は合唱、吹奏楽、演劇、映画鑑賞などに。(定員80名)

フリースペースは打合せや自習など、予約なしで利用できます。

体育室は卓球、太極拳、ヨガ、レクリエーションなど多目的に利用できます。

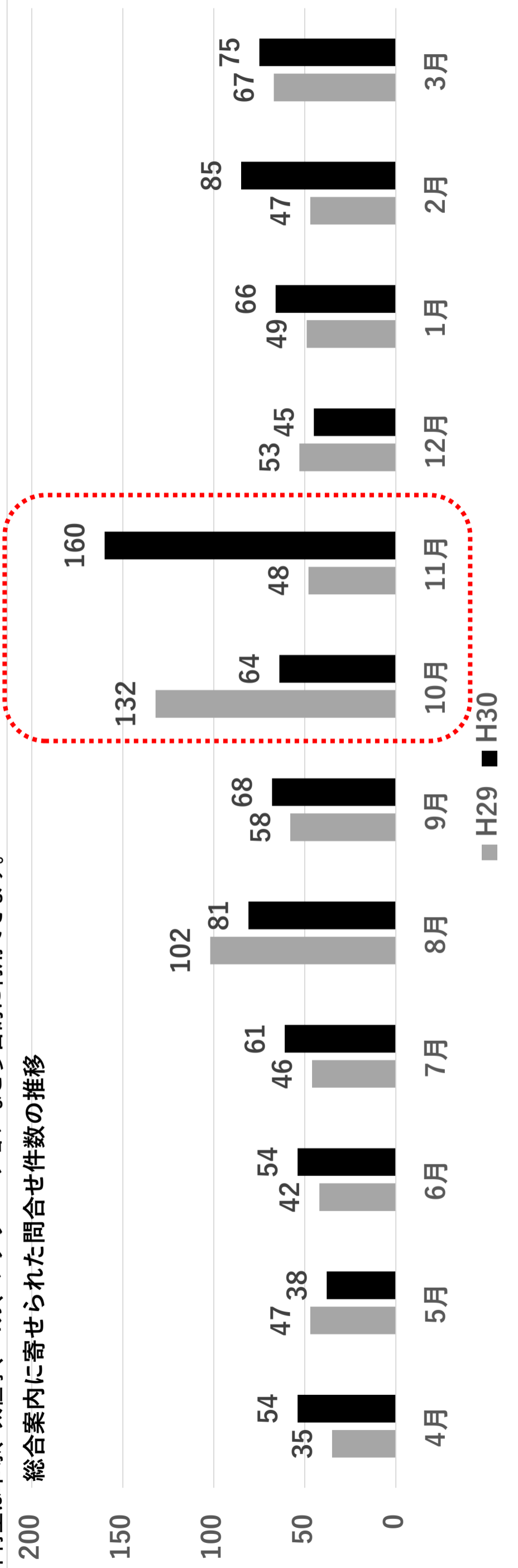


CHECK!

会議室と調理室は組み合わせて利用することもできる。そして会議室は選挙の投票所にもなる場所だ。ぼう。



200 総合案内に寄せられた問合せ件数の推移



BRANCH茅ヶ崎全般

総合案内に寄せられる問合せ（例）

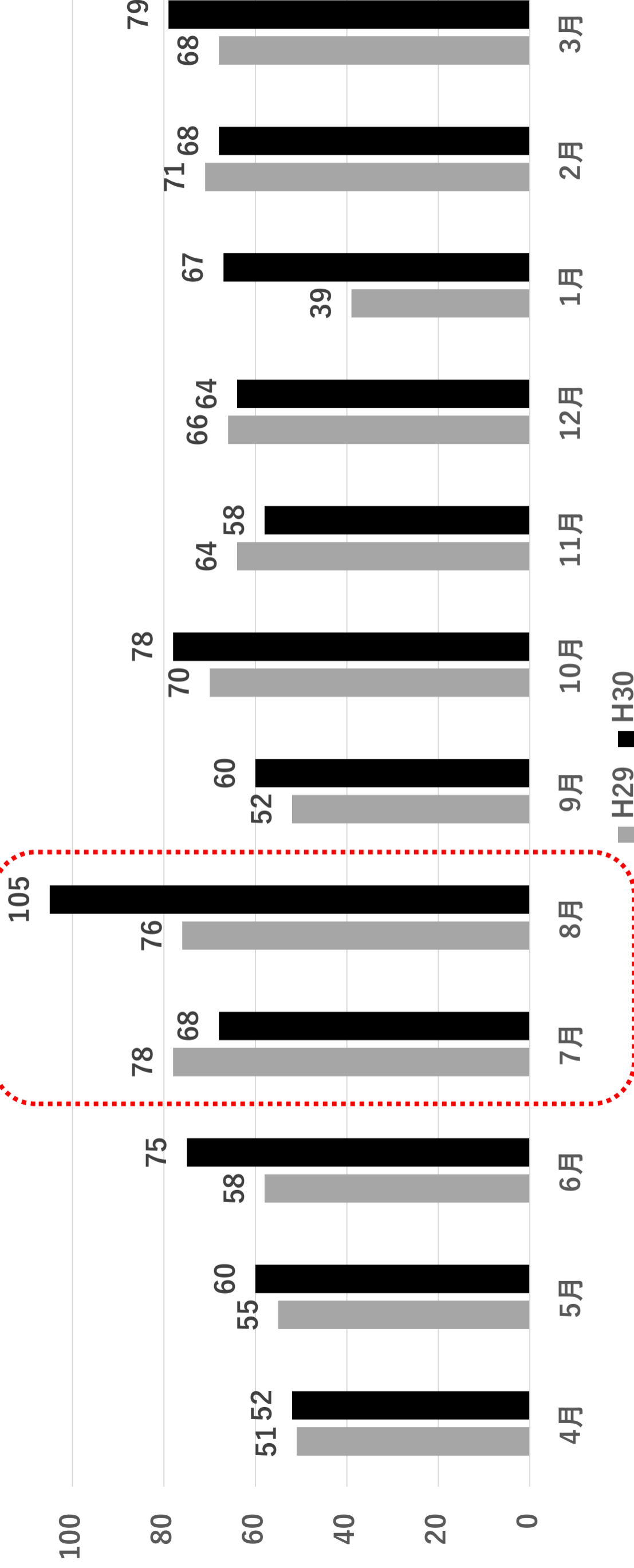
- 公衆電話はありますか
- 落とし物を拾ったので届けたい
- 〇〇の場所はどこでしょうか
- 最近引越してきました。施設全体がわかるフロアガイドはありますか



CHECK!

施設について知りたい、困った、困っていたいときは、総合案内、または管理室に声をかけてね。

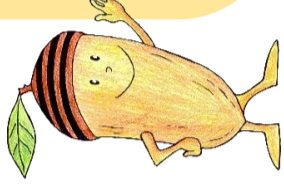
120 総合案内に寄せられた問合せ件数の推移



南西部地域

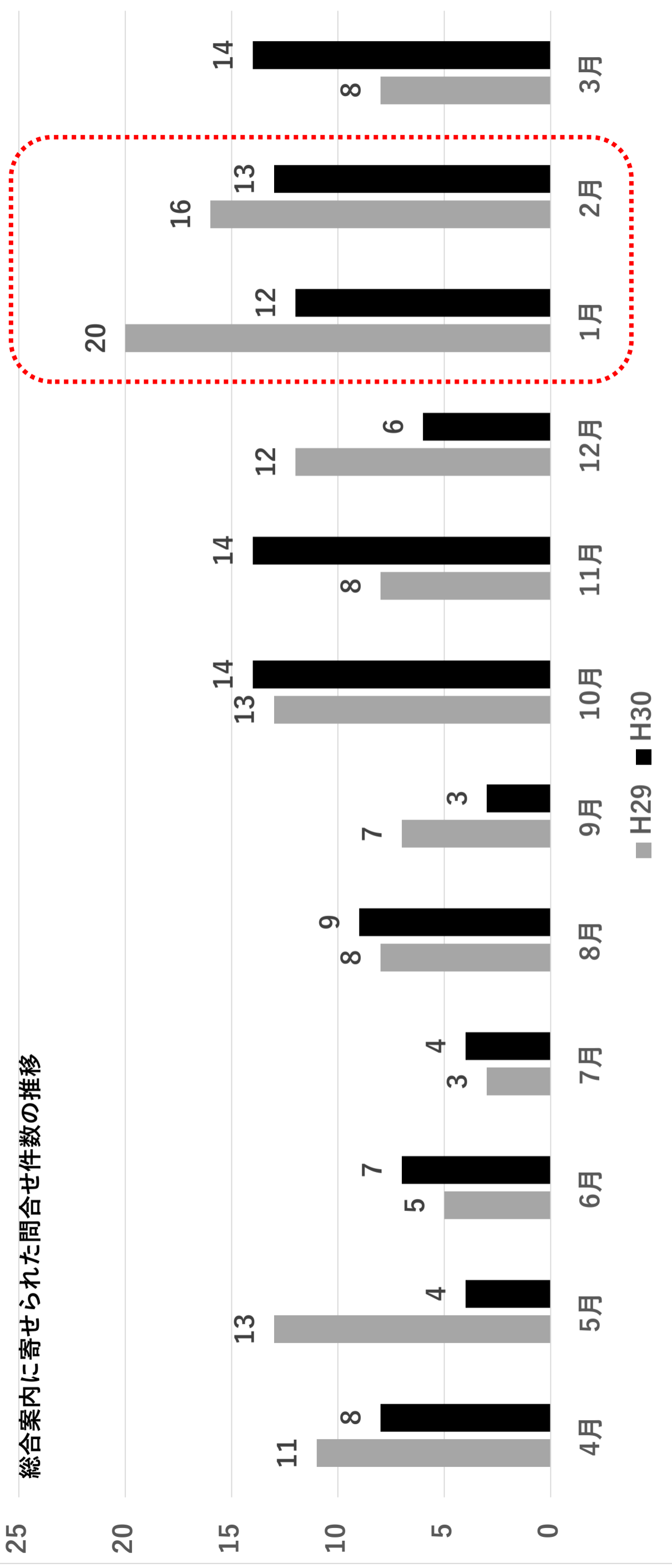
総合案内に寄せられる問合せ（例）

最近引越してきました。近隣の施設やお店について知りたい
 URの管理事務所はどこですか
 駅に向かうバス停の場所と発着時刻が知りたい



CHECK!
施設周辺のことについて
知りたいなくなったときは、総合案内に声をかけ
てね。

総合案内に寄せられた問合せ件数の推移



その他

総合案内に寄せられる問合せ（例）

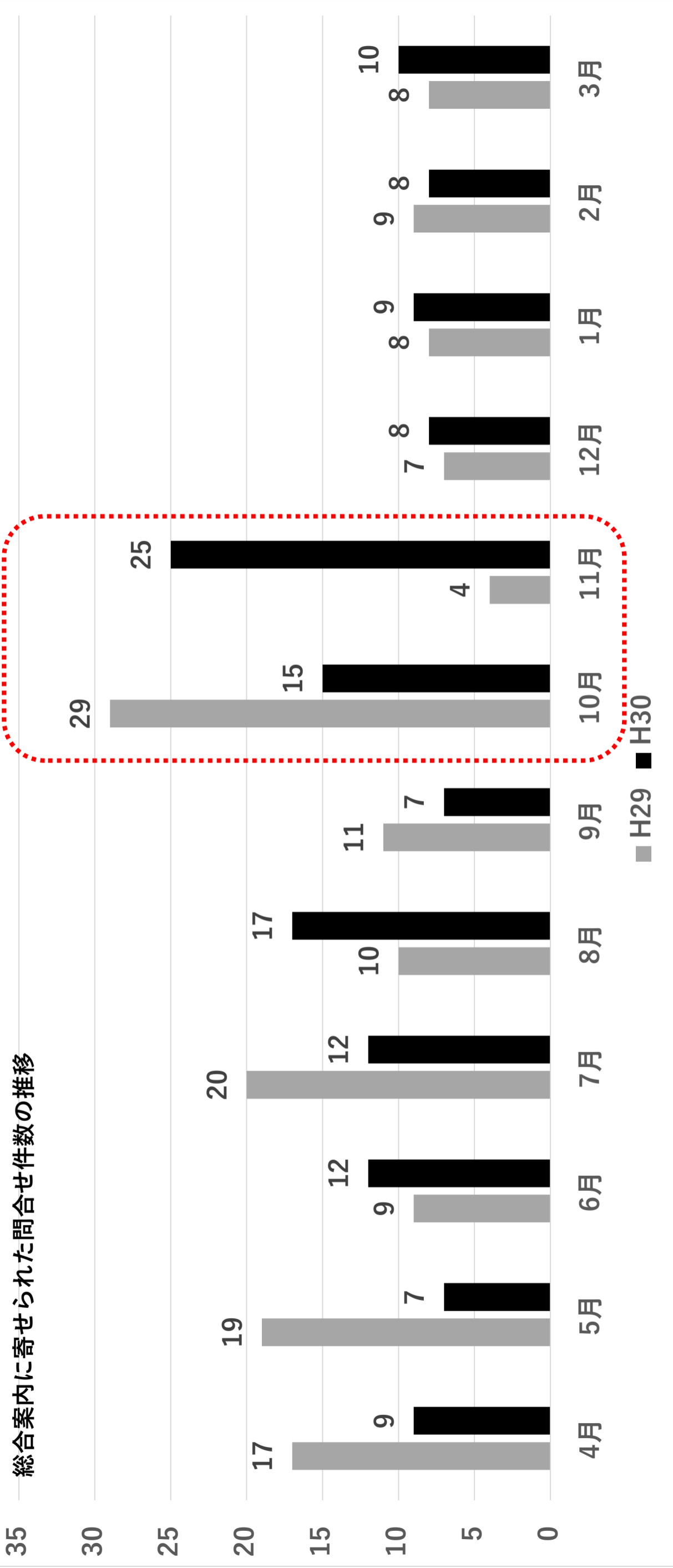
- 〇〇の手続きはこの施設でできますか
- 〇〇という市の施設はどこでしょうか
タクシーを呼びたい



CHECK!

ハッキリとはできない
手続きのことも丁寧に
伝えらるぞよ。迷ったり
困ったりしたときは総合
案内に声をかけるぞよ。

総合案内に寄せられた問合せ件数の推移



収 支 決 算 書

協働推進事業費

(総事業費)

2,750,000 円

(収 入)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	2,750,000	2,750,000	市の支出金
B 収入合計額 (A)	2,750,000	2,750,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支 出)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
C 人件費	2,453,000	2,471,170	2,063,860 円 (ハマミーナ総合案内) 960 円×8h×99 日×1 名 (4 月～9 月) 990 円×8h×106.875 日×1 名 (10 月～3 月) 1,250 円×8h×12.75 日×1 名 1,550 円×8h×10.5 日×1 名 1,570 円×8h×15.875 日×1 名 140,260 円 (ハマミーナ探検隊) 960 円× 4h×1 名 (当日対応) 990 円× 5h×1 名 (当日対応) 1,250 円× 6h×1 名 (事前準備) 1,550 円× 3h×1 名 (広報物作成) 1,570 円×76h×1 名 (企画運営・当日対応等) 165,040 円 (ハマミーナ交流会) 960 円× 4h×3 名 (当日対応) 990 円× 3h×4 名 (当日対応) 1,250 円× 8h×1 名 (当日対応) 1,550 円×12h×1 名 (広報物作成) 1,570 円×72h×1 名 (企画運営・当日対応等) 52,010 円 (市との定期打合せ) 1,250 円×19h×1 名 1,570 円×18h×1 名 50,000 円 (組織内の進捗共有) 1,250 円×40h×1 名
D 旅費交通費	9,000	0	※徒歩、自転車に対応のため
E 通信運搬費	5,000	0	※手渡し等で対応のため

F 印刷製本費	30,000	19,260	<p>7,150 円 *A4 フルカラー両面チラシ 1,000 部 (ハマミーナ探検隊チラシ)</p> <p>5,660 円 *A4 フルカラー片面チラシ 1,000 部 (9/8 ハマミーナ交流会チラシ)</p> <p>5,130 円 *A5 フルカラー両面チラシ 800 部 (3/17 ハマミーナ交流会チラシ)</p> <p>1,320 円 *A4 モノクロ両面 66 部 (ハマミーナ交流会資料印刷)</p>
G 物品費	3,000	9,570	<p>108 円 *B5 ノート 1 冊 (ハマミーナ総合案内スタッフ情報共有用)</p> <p>2,890 円 *A4 用紙 500 枚 578 円/個×5 セット (月次報告書等、資料印刷用)</p> <p>2,600 円 (A3 用紙 500 枚 1,300 円/個×2 セット) (月次報告書等、資料印刷用)</p> <p>3,972 円 (プリンタインク) (月次報告書等、資料印刷用)</p>
H 一般管理費	250,000	250,000	
I 支出合計額 (CからHまで)	2,750,000	2,750,000	

協働事業評価書

事業名	ハマミーナ魅力UP大作戦
団体名	特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎
担当課名	文化生涯学習課・福祉政策課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標 各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

市民と行政の連携により、「生活と防災の拠点」を、より使いやすく愛される施設に！
6課（市民課、保育課、文化生涯学習課、福祉政策課、高齢福祉介護課、図書館）にまたがる複合施設への
市民（＝来館者）からの声・問合せ・提案内容を6課と共有し実現することにより、施設の利便性を高める。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
ハマミーナ総合案内（平日9:00～17:00） ハマミーナ探検隊 ハマミーナ交流会	市民	245日 1回 2回	245日 3回 2回

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値	結果
ハマミーナ総合案内に おける 情報提供件数	市民（来館者）	3,600件/年 （300件/月×12ヶ月）	3,901件/年 （325件/月×12ヶ月）
アンケート	市民（来館者）	「総合案内が利用しやすくなった」人の 割合が80%以上。 「ハマミーナを利用する頻度が増えた」 人の割合が70%以上。	「総合案内が利用しやすくなった」 88% 「ハマミーナを利用する頻度が増えた」 59%

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・事業実施前の想定より評価ははるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業は計画通りに進捗しているか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	例えば防災がテーマのハマミーナ交流会を実施した際には、施設管理者の事業者と市役所関係部局の協力を得るなど、さらに充実した活動と実りある連携につながっているため。 ↑ コメントを記入してください	協働団体の地域ネットワーク・情報収集力などを活用して、利用者の方の活動の場の拡充や、満足度の向上につながっていると感じるため。 ↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	例えば平成29年度のアンケートで寄せられた「施設開放デーの実施」、「防災機能の周知」や、「施設入口で誰でも一休みができる椅子の設置」などを実行したことにより、市民から喜びと感謝の声を多くいただいているため。 ↑ コメントを記入してください	総合案内での細やかな対応と関連各課へのフィードバック、ハマミーナ交流会・探検隊を通じて参加者からの声を反映した改善策の検討及び実施をとおして、利用者の満足度の向上につながっていると感じるため。 ↑ コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	A
	左のA～Eを記入

A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった

最終評価の理由や根拠などを記入してください	互いの強みを活かした役割分担により、課題解決へと向けることができました。特に毎月の打合せでは、市民から寄せられる声の傾向を共有し、背景にある事柄を分析し、アプローチの方法を協議しました。そして日常的で密なコミュニケーションを積み重ね、人もまちもろろう浜見平の最新状況を把握しながら取り組むことができました。
-----------------------	---

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	生活にまつわる総合的な情報提供が鍵となる当事業において、地域情報と市政情報を併せ持ち、市民から頼りにされる体制をつくることができたため。 ↑コメントを記入してください	現場へ拠点を置き住民・サービスについて、細やかな対応が可能でピンポイントな現場の声の収集と、スムーズな情報共有体制を築くことが出来たため。 ↑コメントを記入してください
市民(受益者)満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市民が日々の生活で感じる困りごとや悩みごと、やりがいと生きがいや地域で暮らす人たちのために実現したいことなど、ひとり一人の声や想いに優しく丁寧に寄り添い、市と情報共有を積み重ねながら課題解決に導いたため。 ↑コメントを記入してください	毎月の打ち合わせの中で、現場で拾い上げた生の声から、施設の課題点を共有する体制が密に出来ているため迅速な課題解決を可能にしており、市民に対する満足度の向上につながっているため。 ↑コメントを記入してください
事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
最終評価	A 左のA～Eを記入	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由を記入してください	施設に愛着を持ち身近に感じられるような工夫で、市民の満足度を高めることができたからです。特に総合案内では、日付、性別、年代、問合せ内容、対応方法をフロア別に記録。担当課へフィードバックして市民サービス向上につなげました。施設へのアイデアは都度協議し、より市民が使いやすい施設環境を整えました。またハマミーナ探検隊とハマミーナ交流会では、参加者アンケートの声を次回企画に組み込むなど、市民の声を一つひとつ正確に把握して、事業の企画と実行につなげました。	

市民提案型 4 防災への動画活用
（特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット・防災対策課）

協働推進事業実績報告書

平成31年3月31日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット

代表者 代表理事 小林 信武



平成30年度市民提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	防災への動画活用
担当課名	市民安全部 防災対策課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度5月から6月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくこととなります。

協働推進事業実施結果

<p style="text-align: center;">事業の実施内容</p> <p>※できるだけ具体的に記入してください。</p>	<p>本事業は、行政及び市民の最重要課題である防災について、協働で事業を実施することにより、動画を活用し災害発生時に市民が適切に行動をとれるよう、知識を備えるなど啓発するという事業目的で実施した。</p> <p>(1) 防災に関する講座等を動画化 「防災講座編」として、 以下の8本の動画を、企画・シナリオ作成・撮影・音声録音・編集し、関係者で良く協議して最終的に仕上げた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地震への備え ② 火災への備え ③ 津波への備え ④ 風水害への備え ⑤ 要配慮者対策 ⑥ 避難所、避難場所 ⑦ 在宅避難のすすめ ⑧ 自主防災組織 <p>(2) 作成した動画の活用、周知啓発</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ちらし作成 15,000部 自治会回覧、公共機関など配布 2. ポスター作成 100部 公共機関に掲示 3. DVD作成 200枚 自主防災組織に配布、市民への貸出等 4. 茅ヶ崎市ホームページでの告知、Youtube専門チャンネルの作成とリンク 5. 広報ちがさき 3月1日号で広報 6. ハーモニアスちがさき 3月16日放送 <p>(3) その他上記業務に関連、付随する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地区防災訓練に参加、撮影 ● プロジェクト管理
<p style="text-align: center;">事業の参加者等</p>	<p>茅ヶ崎市市民安全部防災対策課 廣瀬友徳、陣内瑞生、窪田圭佑、防災対策課の皆様 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット 小林信武、市川幸利、伊藤外美子、湊元力、板津守昭</p>

<p>実施日程等</p>	<p>平成30年4月 協定書締結、双方の体制確認 作成する動画の大枠決定</p> <p>平成30年5月 サンプルとして、「避難所、避難場所」、「地震～家屋・家具の倒壊」とすることを決定 これらの講座を撮影・録画</p> <p>平成30年6月 上記2作品の編集会議、改善点が多数あり協議</p> <p>平成30年7月～8月 編集共通事項の検討、現地撮影実施</p> <p>平成30年9月 「避難所、避難場所」、「地震～家屋・家具の倒壊」を、 サンプルとして集中討議し再編集</p> <p>平成30年10月～11月 ナレーションを女性職員の方に統一して行っていただくことに決定、講座編動画の各講座の名称決定、中間評価</p> <p>平成30年12月 小出小学校での地区防災訓練に参加、撮影 「避難所、避難場所」の最終確認 「火災」、「津波」のシナリオ、スライド、音声受領、編集開始</p> <p>平成31年1月～2月 各動画の正式名称決定 残る各講座のシナリオ、スライド、音声受領、編集開始 数次に渡る編集会議と、シナリオ、スライドの変更もあり再編集を繰り返し最終製品に仕上げる 「在宅避難のすすめ」のために茅ヶ崎市内撮影 防災リーダー養成研修会でのアンケート実施（防災対策課）</p> <p>平成30年3月 広報ちがさきで講座編の完成を告知 動画最終版の確認 DVD盘面レーベル及びジャケット案作成、確認後DVD発注 ちらし原案作成、確認後発注 茅ヶ崎市ホームページの変更とYoutube専門チャンネルにアップロード 平成30年度協働推進事業報告書／評価書の作成</p>
--------------	--

収 支 決 算 書

協働推進事業費

(総事業費)

1,320,000 円

(収 入)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	1,320,000	1,320,000	市の支出金
B			
C			
D			
E 収入合計額 (A+B+C+D)	1,320,000	1,320,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支 出)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
F 人件費	1,068,000	1,180,170	プロジェクト管理 88.5 工数×1,620 円=143,370 円 動画打合せ・撮影・編集・アップロード 603 工数×1,620 円=976,860 円 DVD 原版制作 7.5 工数×1,620 円=12,150 円 Youtube チャンネル構築・運用 5 工数×1,620 円=8,100 円 ポスター/チラシ企画・デザイン 24.5 工数×1,620 円=39,690 円
G 謝金			
H 旅費交通費	45,000	49,356	プロジェクト会議等 15,618 円 動画打合せ・撮影・IC レコーダー等 33,738 円
I 通信運搬費	17,000	0	(庁内配布便利用のため)
J 印刷製本費	110,000	69,370	ちらし印刷 9,000 部 両面カラー 14,080 円 ちらし印刷 6,000 部 両面カラー 13,000 円 ポスター印刷 100 部 A3 カラー 6,290 円 DVD 複製 200 部 (ジャケット、箱含む) 36,000 円
K 消耗品費	12,000	13,645	プリンターインク代、用紙代 13,645 円

L 賃借料			
M 一般管理費	68,000	7,459	上記合計の 0.5%
N 支出合計額 (F から M まで)	1,320,000	1,320,000	

協働事業評価書

事業名	防災への動画活用
団体名	特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット
担当課名	市民安全部防災対策課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

防災に関する講座等を動画化し、自主防災組織、防災リーダー、自治会などを通じて、市民に啓発する。
これにより、市民の「自助」の防災意識を一層高める。

活動指標(サービスやイベントなどの実施内容)	対象者等	目標値	結果
防災に関する講座等の動画作成 インターネットでの広報 DVD作成	市民	8本 構築 180枚	8本 構築 200枚

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
アンケート調査	防災リーダー	動画活用した 70%以上 防災リーダー養成研修会でのアンケートでは、動画を活用したいと回答した方が98%(n=51)

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業は計画通りに進捗しているか	2 ↑ 1点から5点を記入	2 ↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	市民が分かりやすい良い作品を双方が作りようとしてモデルとなる作品の完成が遅れている ↑ コメントを記入してください	時間をかけて協議しており、動画の内容や編集方法について多くの時間を協議に要しており、当初のスケジュールより遅れが生じている。 ↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	行政が市民に伝えたいことの表現や著作権の問題に真剣に取り組んでいる。 団体は編集、撮影技術を駆使し、著作権やプロジェクト管理にアドバイス ↑ コメントを記入してください	行政単独では作成が難しい動画という手法を用いて、市民の目線を取り入れながら作成することができる点で協働という事業手法が妥当である。 ↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	まだ市民の方に公開していないので、不明 ↑ コメントを記入してください	市の防災対策について学ぶ機会を、インターネットなどから場所や時間に限定なく提供することができるようになり、市民の満足度は高まると考えている。 ↑ コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

	5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
	4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
	3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
	2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
	1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	4 ↑ 1点から5点を記入	2 ↑ 1点から5点を記入
対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	2 ↑ 1点から5点を記入
相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

最終評価

C

左のA～Eを記入

A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった

最終評価の理由や根拠などを記入してください

市民にとって活用しやすく、多くの方に伝わりやすい動画の制作に努めたことで、協定書にて定めた役割分担や事業内容を超えた作業となった点があった。また、制作過程でスケジュールの遅れが生じ、途中経過などを市民の皆様にお伝えすることが困難な部分があり、透明性と公開性に課題を残した。動画制作については、協働の手法を十分に生かすことができたが、活用については協働で取り組む時間的な余裕がなかった。(防災対策課)

双方良いものを作ろうとしてスケジュールが遅れたが、頻繁に会合をもって相互理解に努めた。スケジュールが遅れたので、市民の皆様に見ていただく時間がなく、透明性と公開性に課題を残した。(湘南ふじさわシニアネット)

事業内容の評価

事業目的目標達成度		評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	4	↑ 1点から5点を記入	2
			↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	5	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
事業スケジュール		評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	2	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
事業手法の妥当性		評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	防災対策課で市民に伝えたいことをシナリオ、スライドに表現していただき、団体が撮影、編集を行った。それぞれ単独では作成できなかった。		市だけでは実施が難しい事業であり、成果は上がったが、市民活動団体の特性を十分発揮していただいたかは判断が難しい。
	↑ コメントを記入してください		↑ コメントを記入してください
市民(受益者)満足度		評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	3	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	3	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	完成スケジュールが遅れたので、市民の方が見て活用していただくのは、これからになるが、市民の皆様方のご期待に十分応えられると思う。	↑ コメントを記入してください	茅ヶ崎市の防災対策について、いつでも動画で学ぶことができるため、これまで防災講話(まなび講座など)を聞く機会を得ることが難しかった市民の皆様にも満足していただけると考えている。
			↑ コメントを記入してください
事業内容の総合評価		評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
予算の妥当性		評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	3	↑ 1点から5点を記入	3
			↑ 1点から5点を記入
最終評価		C	A: 十分達成できた B: ほぼ達成できた C: 課題も残ったが概ね達成できた D: あまり達成できなかった E: ほとんど達成できなかった
	左のA～Eを記入		
最終評価の理由を記入してください		動画の企画や内容について、多くの時間を使って協議を重ねたことでスケジュールに遅れが生じたものの、成果目標である動画8編の制作及びDVDの作成、市の公式HP等を活用した広報を行うことができた。しかし、作品の完成が遅れたことに伴い、市民の皆様への周知、啓発が十分ではなく、市民(受益者)満足度に課題を残した。	

市民提案型

5 中学生への学習支援事業―わかる喜びを、生きる力に―
(特定非営利活動法人ことかも応援丸・学校教育指導課)

協働推進事業実績報告書

平成31年4月2日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 特定非営利活動法人こども応援丸

代表者氏名 津田 眞利



平成30年度市民提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	中学生への学習支援事業—わかる喜びを、生きる力に—
担当課名	学校教育指導課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度5月から6月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくこととなります。

協働推進事業実施結果

<p>事業の実施内容</p> <p>※できるだけ具体的に記入してください。</p>	<p>西浜中学校での学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、南湖公民館において、定例学習会を毎週火曜日に実施した。 ・各定期テスト前には、直前の土日に2回実施した。 ・学校開催の夏休み学習会に学習ボランティアを派遣した。 <p>鶴が台中学校での学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校開催の夏休み学習会に学習ボランティアを派遣した。 ・後期（10月）より、香川公民館において、定例学習会を隔週木曜日に実施した。 <p>【ボランティア養成講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月に「第2回学習ボランティア養成講座」を開催し、計12名が参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ①2つの自尊感情 ②2つの能力観 ③自尊感情を育てる接し方 などについて講義を行った。その後も、新たなボランティアの参加があるごとに同様の講義を実施した。 ・3月には「第3回学習ボランティア養成講座」を開催し、計16名が参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ①自己選択・自己決定と基本的人権 ②心の体力と人の反応 ③愛情確認行動と承認欲求行動から子どもたちの心理を翻訳する という内容で講義を行った。
<p>事業の参加者等</p>	<p>西浜中学校生徒、鶴が台中学校生徒、学習ボランティア</p>
<p>実施日程等</p>	<p>西浜中学校学習会</p> <p>4/20,27 5/7,8,15,22,29, 6/2,3,5,12,19,26</p> <p>7/2,3,10,17,24 8/1,2,3,7,14,21,28 9/1,2,4,11,19,26</p> <p>10/2,10,15,16,23,30 11/1,5,6,13,20,27 12/1,2,4,11,18</p> <p>1/16,22,29 2/4,5,9,10,19,26 3/4,5,12,19,26</p> <p>鶴が台中学校学習会</p> <p>10/18 11/1,15,29 12/13 1/17,24 2/7,21 3/7,21</p> <p>学習ボランティア養成講座</p> <p>第2回 10/26、第3回 3/30</p> <p>新人ボランティア向け 9/4,11、11/8,12,15,29、2/21、3/24</p>

収 支 決 算 書

協働推進事業費
(総事業費)

1,329,000 円

(収 入)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	1,329,000 円	1,329,000 円	市の支出金
B			
C			
D			
E 収入合計額 (A+B+C+D)	1,329,000 円	1,329,000 円	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支 出)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
F 人件費	656,000	543,000	単価 1,000 円/時間 学習会運営、学習ボランティア養成講座準備及び運営、事業運営会議、会計事務、データ管理、担当課・各学校等との打合せ等
G 謝金			
H 旅費交通費	314,000	288,064	学習ボランティアへの支給交通費 282,400 円 市外への出張に伴う交通費 5,664 円
I 通信運搬費	7,000	2,820	書類送付に伴う郵便費 2,820 円
J 印刷製本費	75,000	79,440	ボランティア募集用チラシ及びロゴステッカー作成印刷費 79,440 円
K 消耗品費	142,000	153,796	トナーカートリッジ、コピー用紙、学習用教材、文房具など
L 保険料	15,000	21,232	NPO 活動保険
M 一般管理費	120,000	108,835	F～Lの合計 1,088,352 円の 10%以内
O 返納金		131,813	1,329,000 円 - 1,197,187 円
N 支出合計額 (FからOまで)	1,329,000	1,329,000	

協働事業評価書

事業名	中学生への学習支援事業—わかる喜びを、生きる力に—
団体名	特定非営利活動法人こども応援丸
担当課名	学校教育指導課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

- ・現行対象中学校と他校の計3校で、各学校と連携を図りながら、支援を必要とする生徒を対象に学習支援を行う。
- ・支援対象生徒の学習会参加人数の半数以上の学習ボランティアを毎回確保する。
- ・学習支援ボランティアの方たちに当事業への理解を深めていただくとともに、学習支援に対する姿勢、考え方を共有するため、学習支援ボランティア養成講座を実施する。

活動指標(サービスやイベントなどの実施内容)	対象者等	目標値	結果
・学習会	市内3校の中学生	毎月2回以上実施(新規実施校は夏休み以降)	対象校は2校となった。学習会については、継続実施校は概ね月に4回、新規実施校は夏休み以降概ね月に2回実施した。学習支援ボランティア養成講座は年10回実施した。
・学習支援ボランティア養成講座	学習支援ボランティア	年2回実施	

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
受益者アンケートの実施(学習会ごと)	学習支援を受けた中学生	学習会に参加した生徒の大部分が肯定的に捉えている。

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・事業実施前の想定より評価をはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	2	2
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	1年目に実施した学校で、2年目の継続実施について話し合いが進んでいたが、次年度より地域主体で実施するというので継続実施を取りやめたため。	昨年度から継続予定であった学校において、地域主体で実施する計画に変更したことにより、計画通りに実施できなかったため。
	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	新たな学校で学習支援事業がスタートできたのは、学校教育指導課の力に依るところが大きく、単独では学校の協力は得られなかったと思われるため。	それぞれの家庭の経済状況にかかわらず、個々のニーズに応じた学習機会を提供することができた。学校が個別指導の機会を設けることに苦慮していることから、大変有意義な事業手法だと感じる。
	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうと感じますか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	学習支援に参加している生徒たちから高い満足度が得られているだけでなく、支援者であるボランティアからも、「社会の担い手としての意識が高まった」や「生きがいにつながっている」等の声があり、支援者からも高い満足度が得られているため。	参加した子どもたちのアンケートからは、概ね高い満足度が得られている。また、当該学校教員から、学習支援に参加している生徒が、学校の授業でやる気が高まっているとの報告があったり、不登校生徒や学校の勉強についていけないなど、個別の支援を必要とする生徒のニーズを捉えることができたりしているため。
	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	A	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった
	左のA～Eを記入	
最終評価の理由や根拠などを記入してください	学校教育指導課をはじめ、当該学校との協働により、新たな学校で学習支援事業を広げることができました。支援活動では、一人一人の生徒の多様なニーズに応じた学習機会を提供することができました。学習支援に参加している生徒だけでなく、支援者であるボランティアからも高い満足度が得られました。取組による生徒の変容がボランティアにとっての成功体験となっており、「社会の担い手としての意識が高まった」「生きがいがいにつながっている」等の声があがっています。	

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
	1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	2 ↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
	3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	5 ↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
	4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	対象となる生徒のニーズや変容等について、学校や保護者、行政と情報を共有することで、より高い効果が得られると考えているため。 ↑コメントを記入してください	「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、家庭や地域と共に子どもを育てていくという視点に立ち、地域学校協働活動を推進しているため。 ↑コメントを記入してください

市民(受益者)満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
	5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4 ↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	年度途中で参加をやめた生徒もいるが、継続して参加した生徒の感想等から満足度の高さを感ぜられるため。 ↑コメントを記入してください	参加した生徒へのアンケートの結果から、高い満足度が得られたことが確認できたため。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
	7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
	8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった </div>
最終評価の理由を記入してください	すべての子どもの多様なニーズに応じた学習機会を整えていくことは、大変重要な視点です。新しい教育課程が目指す理念を、学校や教育関係者のみならず、保護者や地域の方々と共有し、社会全体で子どもの成長に協働的にかかわっていく必要があります。この取組への参加が、生徒の学ぶ姿勢や自己肯定感の向上につながっており、安心できる居場所づくりができていると考えられることから、目標を十分達成できたと判断することができます。	

行政提案型 6 茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト
(特定非営利活動法人ドットジェイピー・企画経営課)

協働推進事業実績報告書

平成31年3月31日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 特定非営利活動法人ドットジェイピー
代表者氏名 理事長 佐藤大吾

平成30年度 行政提案型
します。

協働推進事業の実績について、次のとおり報告

事業の名称	茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト
担当課名	企画経営課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度5月から6月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

<p>事業の実施内容</p> <p>※できるだけ具体的に記入してください。</p>	<h3>第1章「未来茅ヶ崎市」政策コンテスト 概要</h3> <p>「未来茅ヶ崎市」とは、9～11月の活動期間に参加できる16歳以上29歳以下の茅ヶ崎市及び近隣に在学・在勤・在住の若者たちがチームを組み、約2か月間かけて未来の茅ヶ崎市の政策を練りあげた上で、市民のみなさまの前で提案プレゼンテーションを行う政策立案コンテストである。</p> <p>2018年度においては、次代を担う若者たちが「もし自分が茅ヶ崎市長だったら」という前提のもと、2030年の茅ヶ崎市のビジョンを掲げ、それを実現するための5年後の重点政策・予算にまで落とし込むことで、「若者らしい斬新かつ、現実性を備えた夢」を競い合った。</p> <p>本コンテストは茅ヶ崎市と特定非営利活動法人ドットジェイピー(以下、「ドットジェイピー」と称する)との協働事業として行われ、同法人が開発した社会教育プログラムに沿って行われた。参加者全員に、同法人が作成したワークブック・テキストブックを配付した。</p> <p>本コンテストは3回の催事と、催事間の自主活動によって構成された。第1回の催事(キックオフ)は、これから茅ヶ崎市について考える上での学びの場として、市職員が登壇し参加チームへの講義を行った。</p> <p>キックオフ後、参加チームは運営受託事業者のドットジェイピーからの指導を受けながら、2030年の茅ヶ崎市のビジョンと、それを実現するための5年後の重点政策を考案した。また茅ヶ崎市の現状を体感するためのまちあるきイベントも希望者を募り実施した。</p> <p>第2回の催事(中間チェック)では、参加チームが考案したプランを持ち寄り、チームごとに市職員から直接のアドバイスを受けた。</p> <p>中間チェック後、参加チームは再びドットジェイピーの指導を受けながら、ビジョン・重点政策の見直しに加えて、重点政策に必要な予算についても考案した。また、それに並行してYouTubeを活用した広報活動を行っていくべく、動画の撮影も行った。</p> <p>第3回の催事(予行練習・決戦)では、参加チームがお互いにプランをプレゼンテーションし合い、一般観覧者・市職員による投票により得票数上位3チームを選出、最も票数の多かったチームに市長賞を贈った。</p> <p>コンテストに参加した若者は、大学生を中心に計7チーム(32人)であった。</p> <h4>1. コンテスト概要</h4> <p>対 象：9～11月の活動期間に参加できる16歳以上29歳以下の方で、</p>
---	---

4～6人のグループ又は個人(合計10チーム程度を募集、申込み・先着順)

期 間：2018年9月8日(土)～2018年11月11日(日)

課 題：2030年の茅ヶ崎市のビジョン

上記を実現するための、茅ヶ崎市の5年後の重点政策・予算

選 考：投影資料を用い、募集した一般観覧者に対しプレゼンテーションを行う。一般観覧者・市職員による投票を持って、最優秀チームを決定する。

2. 参加チーム一覧(人数)

- ① こにちゃんず(3人)
- ② SHIRASU(5人)
- ③ パブリックリレーションズ班(4人)
- ④ まゆちゃんズ(4人)
- ⑤ 茅ヶ崎ファーストの会(6人)
- ⑥ 神大オールスターズ(5人)
- ⑦ 0塚K太郎 with friends(5人)

3. 参加チームの所属大学(50音順)

神奈川大学、中央大学、東洋大学、文教大学、明治学院大学

4. 各イベント日時・場所・参加チーム数

【キックオフ】

日時：9月8日(土) 13時～16時30分

場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎1階 市民ふれあいプラザ

参加者数：26人

【まちあるき】

日時：9月17日(月・祝) 13時～16時30分

場所：茅ヶ崎市役所～

サザンビーチちがさき

ハマミーナ

柳島しおさい公園

茅ヶ崎北陵高校(下寺尾官衛遺跡群)

富士見赤羽根ファーム 他

参加者数：14人

【中間チェック】

日時：10月7日（日） 13時～17時30分
場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎4階 会議室
参加者数：28人

【予行練習・決戦】

日時：11月11日（日） 9時30分～15時40分
場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎4階 会議室
参加者数：32人 観覧者数：35人

第2章「未来茅ヶ崎市」政策コンテスト テキスト

1. テキスト概要

「未来茅ヶ崎市」政策コンテストでは、ドットジェイピーが作成したワークブック及びテキストブックを使用した。ワークブックはチャート形式にワークが組み立てられており、段階を追って課題をこなしていくことで、政策立案に必要な現状分析やビジョン及び予算の策定に取り組める構成となっている。テキストブックでは、地方自治体の財政の基礎を示し、参加者が描いたビジョンを現実的に裏づけするのに必要な知識や情報を提供している。コンテストの課題が参加者の負担になりすぎることのないよう、両ブックとも精査された必要最低限の項目で構成されており、コラム等が織り交ぜられ、難しい用語や予算の考え方なども、参加者に分かりやすいように解説されている。

本年度は特に、2030年の理想像から5年後に行うべき政策を見出すこと（バックキャストに考え方）、フィールドワークを重視することなどを盛り込んで改定した。

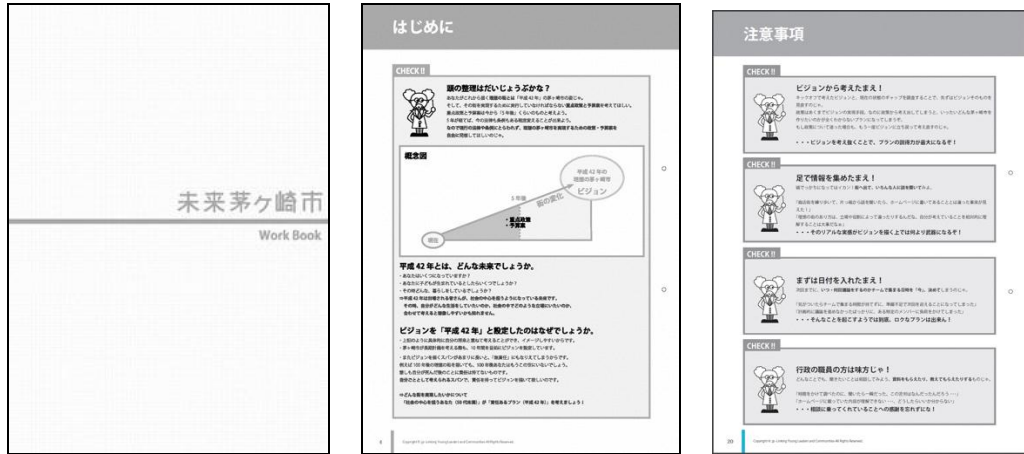


図 2-1 出場者に配布したテキストより抜粋

2. テキスト内容の詳細

テキストの内容は、以下のとおりである。

～Work Book～

■はじめに

「未来自治体」とは？

「未来自治体」の全体像

- RULE
- ・内容に関するルール
 - ・提出物、期限に関するルール
 - ・発表に関するルール

★CHECK!! 頭の整理はだいじょうぶかな？

2030年とはどんな未来でしょうか。

ビジョンを「2030年」と設定したのはなぜでしょうか。

未来自治体に挑む皆さんへ

■SESSION 0 1 キックオフ

WORK：今、どうなの？

WORK：現状

WORK：本当は、どうあるべき？

GROUP WORK：2030年の理想の街
次回までにやるべきこと

■SESSION 0 2 中間チェック

WORK：「街のビジョン」を確定せよ

WORK：コミットメント宣言

次回までにやるべきこと

参考情報（予算の考え方）

次回までの議論用ワークシート

次回の発表用フォーマット

優勝を目指す皆さんへ

■SESSION 0 3 決戦

「未来自治体」を終えて
「未来自治体」を終えた皆さんへ

～Text Book～

■ I. 「未来自治体」とは
目的とゴール

■ II. 地方自治体の財政

II-1 財政とは

財政の原則

予算と決算 – 1年間の計画と結果–

一般会計と特別会計

II-2 歳入について

歳入の種類

自主財源と依存財源

II-3 歳出について

歳出の種類

II-4 現状分析

■ III. 財政用語の説明

■ IV. ドットジェイピーについて

第3章 キックオフの詳細

日時：2018年9月8日（土） 13時～16時30分

場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎1階 ふれあいプラザ

参加者数：26人

1. タイムテーブル

13:00～ 開会・挨拶・ナビゲーター紹介・アイスブレイク

13:30～ 未来茅ヶ崎市概要説明

13:40～ 未来茅ヶ崎市ワークショップ1

【WORK：今、どうなの？】

14:35～ 茅ヶ崎市職員による現状のレクチャー

└企画経営課 職員

15:05～ 未来茅ヶ崎市ワークショップ2

【WORK：本当は、どうあるべき？】

16:20～ 次回までにやるべきこと・終わりに
16:30 終了

2. キックオフ内容

2か月間に渡る「未来茅ヶ崎市」政策コンテストの開催にあたり、参加チームに茅ヶ崎市政について学んでいただく場として開催された。

講師は、過去にも本市政策コンテストの講師を務めた土屋大輔氏（株式会社船井総合研究所 地方創生事業グループ マネージャー）が務めた。

初めに、当コンテストの主旨について説明を行った。参加チームには「2030年を見据えたある程度の実現可能性があり、かつ“茅ヶ崎らしい”政策を考案せよ」という課題が発表された。

次に、最初のワークショップを行った。参加チームには「茅ヶ崎市の生活者」という自己の立場から、当市で感じる問題意識を個々のチームメンバーに書き出してもらい、次にチームで共有した。共有に際して、個人で挙げた問題にはテーマに共通性があるか？どのような生活者が感じる問題なのか？など列挙された茅ヶ崎市の問題点をチームで再編成することにより、参加者は無意識に感じていた問題を意識することができた。チームで編集されたものを発表し、他のチームとも共有した。

次に「立場を決めれば、世界が見えてくる」と題したドットジェイピー作成のライドショーを鑑賞し、立場によって「何を問題と意識するか、どんなニーズがあるか」が違うことを認識した。

次に企画部企画経営課の職員より茅ヶ崎市の財政内容や、現在抱えている課題、その課題の解決策として市が行っていることについて参加チームに講義をした。参加者は茅ヶ崎市が今どのような状況にあってどのような問題があると考えられるか、学ぶ機会となった。

当日最終のワークショップでは、本コンテストの課題である「2030年」を描くという目的の前段として、参加者個々人に2030年の理想の茅ヶ崎市ではどんな光景が見られるか思い浮かべてもらい、これも参加チーム及び他チームとの間で共有した。

この半日に渡るイベントで、問題意識の表出化・市の現状理解・2030年の理想をイメージ化する3段階のワークを行い、2か月の政策立案の土台を固めることができた。



第4章 キックオフ～中間チェックまで

参加した1～2チームごとに、ドットジェイピーに関わる学生スタッフの内、特に自治体政策について学んでいる者、関心の高い者が担当者として付き、問合せに対する回答、立案に関するある程度のアドバイスなど、参加チームのフォローを行う体制をとった。担当スタッフと参加チームの連絡に関しては、メールのみならずLINEなど若者に好まれる手段を用い、昼夜を問わない連絡体制を構築した。

また、参加者がまちを実際に見て回り、課題を発見したり確かめたりできる、政策立案の一助となるようなフィールドワークを市主催で実施した。

以下、キックオフから次の催事である中間チェックまでに行った主なフォロー活動を記す。

1. 週報提出（内容は付録）

参加チームにはキックオフの後、運営受託事業者のドットジェイピー担当者に対して、その週の進捗を電子メールで報告することとした。返答についてはドットジェイピー内で協議の上、適切な回答文を精査して行った。

このようにコミュニケーションを密にしたことが、参加チームの成果物クオリティの向上、参加モチベーションの維持に寄与した。

提出日：9月14日、21日、28日

2. フィールドワーク（まちあるき）

参加者の中から希望者を募り、市の名所・施設を公用車で移動しながら見て回るフィールドワークを行った。

実際に目で見えて歩いて確かめることで、キックオフで考えた仮説の検証や再考を行うことができたため、立案した政策の実現可能性の向上に寄与した。

日時：9月17日（土） 13時～16時30分

場所：茅ヶ崎市役所 サザンビーチちがさき ハマミーナ 柳島しおさい公園
茅ヶ崎北陵高校（下寺尾官衛遺跡群） 富士見赤羽根ファーム他

参加者数：14人



図3-1 まちあるきの様子



図3-2 まちあるきの様子



図3-3 まちあるきの様子



図3-4 まちあるきの様子

第5章 中間チェックの詳細

日時：2018年10月7日（日） 13時～17時30分

場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎4階 会議室

参加者数：28人

1. タイムテーブル

13:00～ 挨拶

13:05～ 私たちが描く茅ヶ崎市のビジョン

└各チーム発表3分 講評2分

13:55～ 政策ブラッシュアップ・動画撮影

└各小部屋にてプレゼンテーション・アドバイス
(各チーム15分)

└大部屋で動画撮影

└待ち時間にブラッシュアップ

16:15～ コミットメント宣言・終わりに

17:30 終了

2. 中間チェック内容

初めに、各チームがキックオフから考えてきた2030年の茅ヶ崎市のビジョンや問題点・政策案について進捗報告を行った。また、各チームの報告に対して、講師の土屋大輔氏(株式会社 船井総合研究所 地方創生事業グループ マネージャー) から講評があった。各チームは、他のチームのプレゼンテーションや講評を聞き、自らのビジョンについて議論を深めた。

その後は、アドバイザー職員にさらに詳細なアドバイスを受け、受けたアドバイスをその場で修正する時間「政策立案タイム」とした。会場とは別室に企画経営課のアドバイザーが待機する2つのブースを設けた。各チームは政策立案タイム中に15分間のアドバイスを受けた。ブースでは、アドバイザーと参加チームの間で熱心な議論が交わされた。参加チームは、キックオフからの議論やフィールドワークで得た気づき、中間チェックでの講評など、それまでの活動を通して生じた疑問について尋ねた。

また、アドバイザーからも厳しいアドバイスや質問が相次いだ。多かった指摘は以下のようなものがある。

- ・茅ヶ崎らしいビジョンが不明確なので、もっと詰める必要がある
- ・2030年のビジョン、5年後の政策という時間軸が不明確である(もっと直近で実行できるような政策にとどまっている)
- ・政策にかかる予算と捻出方法が不明確である。

希望するチームは、更にもう1～2回、練り直したビジョンと政策について、アドバイザーとディスカッションを行った。

また、上記の「政策立案タイム」と並行して、参加者の決勝に向けた決意表明やビジョン・政策の広報に使用する動画の撮影を行った。動画は後日、YouTubeにおいて茅ヶ崎市が運営する動画チャンネル「ちがさき動画ライブラリー」にてアップロードされた。

アドバイスを受けている以外の時間では、アドバイスを参考に、ドットジェイピーの学生スタッフ等からも追加のアドバイスを受けたり質疑応答をしたりしながら、自チームのビジョン・政策のブラッシュアップを行った。各チームは、若者らしさと実現可能性を両立させた茅ヶ崎らしいビジョンを描くことの難しさに頭を悩ませながらも、真剣に議論に取り組んでいた。

最後に、さらに約1か月間を頑張るという意味を込めて、各参加チームがチーム内で決戦に向けた意気込みを発表し、その後、各チームの代表者が会場全体に向けて意気込みと決意を表明した。



図 5-1 発表の様子



図 5-2 職員からアドバイスを受ける様子



図 5-3 職員からアドバイスを受ける様子



図 5-4 参加者による議論の様子

第 6 章 中間チェック～決戦まで

中間チェックでは主に政策へのブラッシュアップの他、予算に対してのアドバイスもいただいたため、その点も考えて「現実性を兼ね備えた、未来の夢」を考案した。

中間チェック以後も、継続してドットジェイピーのスタッフからは参加者へ週報や、その他個別相談という形でアドバイスを行った。未来茅ヶ崎市のプログラムには、「フォアキャスト型」（現状を理解して、その延長線上で未来を考えるもの）と、「バックキャスト型」（あるべき姿から逆算して政策を練っていくという型）があること、未来茅ヶ崎市においてはバックキャスト型の提案をしてほしいことなど、参加者に対してこれからプランを考えるに当たって必要になる知識やアドバイスを共有することで、よりよい政策の提案を手伝った。

1. 週報提出

提出日：10月12日、19日、10月26日

第 7 章 決戦の詳細

日時：2018年11月11日（日）10時00分～15時40分

※午前中は予行演習

場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎4階 会議室

参加者数：32人

観覧者数：35人

1. タイムテーブル

10:00～ 進行説明

10:10～ 参加者予行発表・最終ブラッシュアップ

13:00～ 決戦開会

13:10～ 各チームプラン発表

15:25～ 結果発表・表彰

15:35～ 終わりの挨拶

15:40 終了

2. 決戦内容

中間チェックから約1か月が経過した11月11日、決戦イベントが開催された。

午前中は、本番と同じ環境で実際のプレゼンテーションを意識した予行演習を行い、予行演習が終わったチームは小会議室のスペースを利用し各々で発表の予行練習を行った。茅ヶ崎市職員、講師、および運営スタッフからは発表に対するフィードバックが行われ、詰めてきた政策の内容をいかに分かりやすく伝えるか、という点においてのフィードバックが多くされた。発表を踏まえた上で、最後に直すべきところを洗い出し、ブラッシュアップの作業を行った。

プランの内容はもちろん、プレゼンテーションも重要なため、使用するスライドの可読性や、身振り手振りなどの部分中心に最終調整を行うチームも多くいた。一方、あくまでも政策をさらに良くできないかと机でパソコンを囲んでもう一步精緻な政策を目指すチームもいた。ブラッシュアップ時にもスタッフや市職員を交え、決戦の成果物を午前中で完成させた。

午後からは、一般観覧者にも来場いただいたの発表が始まった。山崎正美副市長からの挨拶があり、7チームの発表が始まった。発表は公平を期すために、中間チェックの際にくじ引で決められた順に行われた。

その後、投票が行われた。投票は実際の選挙で使われる投票箱を使用し、本番を意識した演出を行った。これにより選挙に関する理解を深め、投票の意義を強く訴えかけた。

投票結果から優勝チームが発表された。優勝したのは、「SHIRASU」。文教大学の学生だけで構成されたチームで、シニア世代が生きがいを持って働けるまちをビジョンに掲げ、農業に着目した政策を発表した。現状の茅ヶ崎市が抱える高齢化の課題、広く社会で問題とされているシニアの働き口の問題か

ら、農業を取り入れた斬新かつ精緻な政策と発表が、最も多くの観覧者の心に響いた。

最後に、「SHIRASU」の代表者が未来茅ヶ崎市に参加したことを踏まえ、今後どう茅ヶ崎市のまちづくりに関わっていくか宣言した。「自分たちができることをもっと考えて行動していきたい」と答える参加者も複数おり、参加者の行政参画意識が多いに高まった。



図 7-1 最終ブラッシュアップの様子



図 7-2 発表の様子



図 7-3 1位SHIRASUの発表の様子



図 7-4 投票の様子

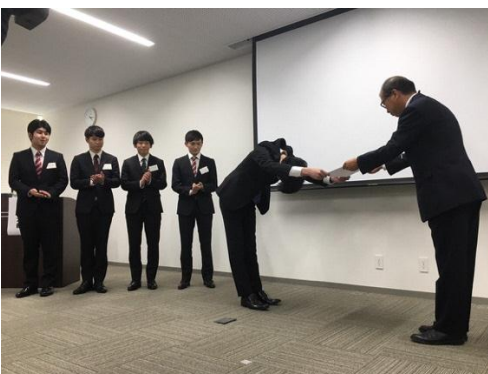


図 7-5 表彰の様子



図 7-6 最後の集合写真

昨年よりも出場者の総数が減少し、目標を達成できなかった

事業の
参加者
等

組番号	チーム名	個人番号	氏名 (敬称略)	ふりがな	所属	居住地が 市内か市外 か
1	茅ヶ崎 ファーストの会	1	片倉 豪太	かたくらごうた	神奈川大学	市外
		2	西田 稜	にしだりょう	神奈川大学	市外
		3	坂田 啓人	さかたけいと	神奈川大学	市外
		4	柳田 達也	やなぎたつたつや	神奈川大学	市外
		5	石井 竜成	いしいたつなり	神奈川大学	市外
		6	山川 裕貴	やまかわゆうき	神奈川大学	市外
2	パブリック リレーションズ班	7	永松梨奈	ながまつりな	文教大学	市内
		8	齋藤諒	さいとうりょう	文教大学	市外
		9	佐藤弓子	さいとうゆみこ	文教大学	市内
		10	岩間賢途	いわまけんとう	文教大学	市外
3	O塚K太郎 with friends	11	大塚健太郎	おおつかけんたろう	文教大学	市外
		12	高橋享佑	たかはしきょうすけ	文教大学	市内
		13	鈴木涼平	すずきりょうへい	文教大学	市外
		14	市村和貴	いちむらかずき	文教大学	市内
		15	新川智哉	にいがわともや	文教大学	市外
4	こにちゃんず	16	増子 知里	ますこちさと	中央大学	市外
		17	小野 多瑛	おのたえ	明治学院大学	市外
		18	西山 弘海	にしやまひろみ	東洋大学	市内
5	神大★オール スターズ	19	石附千尋	いしふちひろ	神奈川大学	市外
		20	内藤将貴	ないとうまさき	神奈川大学	市外
		21	寺島綾香	てらしまあやか	神奈川大学	市外
		22	中村亮太	なかむらりょうた	神奈川大学	市外
		23	坂本涼	さかもとりょう	神奈川大学	市外
6	まゆちゃんず	24	村上愛花	むらかみあいか	文教大学	市外
		25	稲垣実唯希	にいがきみゆき	文教大学	市外

7	SHIRASU	26	高橋彩花	たかはしあやか	文教大学	市外
		27	腰山幹太	こしやまかんだ	文教大学	市内
		28	八幡昌宏	やはたまさひろ	文教大学	市内
		29	松本拓磨	まつもとたくま	文教大学	市内
		30	川本裕之	かわもとひろゆき	文教大学	市内
		31	塚本健一	つかもとけんいち	文教大学	市外
		32	松岡 漠	まつおかばく	文教大学	市内

実施日
程等

【キックオフ】

日時：9月8日（土） 13時～16時30分

場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎1階 市民ふれあいプラザ

参加者数：26人

【まちあるき】

日時：9月17日（月・祝） 13時～16時30分

場所：茅ヶ崎市役所～

サザンビーチちがさき

ハマミーナ

柳島しおさい公園

茅ヶ崎北陵高校（下寺尾官衛遺跡群）

富士見赤羽根ファーム 他

参加者数：14人

【中間チェック】

日時：10月7日（日） 13時～17時30分

場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎4階 会議室

参加者数：28人

【予行練習・決戦】

日時：11月11日（日） 9時30分～15時40分

場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎4階 会議室

参加者数：32人 観覧者数：35人

収支決算書

協働推進事業費
(総事業費)

1,500,000 円

(収入)

(円単位)

区分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	1,500,000	1,500,000	市の支出金
B			
C			
D			
E 収入合計額 (A+B+C+D)	1,500,000	1,500,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支出の部)

(円単位)

区分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
F 人件費	1,255,000	1,254,080	プログラム設計 1,040円 × 2 人 × 80 時間 イベント設計 1,040円 × 2 人 × 80 時間 出場者配布参考書作成 1,040円 × 2 人 × 120 時間 募集チラシ原稿作成 940円 × 1 人 × 15 時間 出場者募集フォーム作成 940円 × 1 人 × 1 時間 出場者募集活動 1,040円 × 2 人 × 100 時間 出場者募集活動 補佐 940円 × 1 人 × 30 時間 キックオフ投影・配布資料作成 1,040円 × 2 人 × 16 時間 キックオフ当日運営 1,040円 × 1 人 × 5 時間 出場者補助 1,040円 × 2 人 × 120 時間 出場者補助 補佐 940円 × 1 人 × 50 時間 決勝投影・配布資料作成 1,040円 × 2 人 × 24 時間 決勝当日運営 1,040円 × 2 人 × 8 時間 報告書作成 940円 × 1 人 × 20 時間
G 謝金	20,000	20,000	講師費 10,000円 × 1 人 × 2 回
H 旅費交通費	76,000	75,260	職員打合せ交通費(横浜⇄茅ヶ崎) 1,940円 × 1 人 × 3 回 キックオフ・決勝のボランティア交通費(横浜⇄茅ヶ崎) 992円 × 10 人 × 2 回 告知・募集活動のボランティア交通費(横浜⇄茅ヶ崎) 992円 × 5 人 × 10 回
I 通信運搬費			
J 印刷製本費	15,000	14,400	募集チラシ印刷費 @4.8円 × 3000 部
K 消耗品費			
L 賃借料			
M 一般管理費	134,000	136,260	直接事業費の10%以内
N 支出合計額 (FからMまで)	1,500,000	1,500,000	

協働事業評価書

事業名	茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト
団体名	特定非営利活動法人ドットジェイピー
担当課名	企画経営課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

出場する若者たちが自ら茅ヶ崎市の政策や予算を考え、立案することで、行政や政治への関心を高める。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
■魅力的なイベント等の実施 ・キックオフイベントの開催 ・中間チェックイベントの開催 ・出場者との週1回程度のレポートの受信・返信 ・まち歩きイベントの開催 ・決勝イベントの開催	16歳以上29歳以下の茅ヶ崎市および近隣に在住・在学・在勤の方	出場者55名 (11チーム)	出場者32名 (7チーム) ※(1チーム5名辞退)

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
アンケート	コンテスト出場者	行政や政治に対して関心が高まったと回答した人数の割合80%
-	-	-

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価ははるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗しているか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	本事業は、行政が持つ、まちづくりの担い手とのコネクションや、市政・財政に関する情報、地方自治体の政策に関する知見が不可欠であり、協働事業として行う必要性がある。	本事業は、政策立案に至るまでのプロセスが重要であると考えている。パートナーの持つノウハウに加えて、出場者へのフォロー態勢に優れている。行政だけでは、手厚いフォローは難しい。
	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	弊団体は毎日、出場者と連絡をとっており、日々、茅ヶ崎市民に貢献する政策立案するという意欲、知見の高まりを感じる。より多くの茅ヶ崎市民にこのことを知っていただき、まちづくりへの参加意欲を高めていただけるか、残りの期間の活動にかかっているため、現段階では3とする。	出場者の市民の割合が多い状況であり、イベントが進むにつれて、茅ヶ崎への関心やモチベーションが高くなっていると感じている。結果、満足度に寄与すると考える。ただし、現時点では出場者に限られる。
	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	B	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由や根拠などを記入してください	左のA～Eを記入 ドットジェイピーによる政策コンテストの教材や運営ノウハウ、出場者と同世代スタッフによる各チームに寄り添ったマンパワーは、政策立案の精度向上につながった。また、茅ヶ崎市からは市政に関する様々な情報や各チームの状況に応じた適切なアドバイス等を行った結果、有意義な茅ヶ崎市の理想像、施策を得ることができたと考える。ただし、出場者及び観覧者の確保については、改善の余地がある。	

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
	1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	2 ↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
	3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	2 ↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
	4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	1年目を踏まえ、より緊密に茅ヶ崎市と連携した出場者へのフォローができ、出場者をより茅ヶ崎市政のニーズに沿ったビジョン及び政策立案へと導くことができたと考えるため。 ↑コメントを記入してください	1年目に引続き、コンテスト運営のノウハウ、プロセスにおける出場者へのフォロー等、トッドジェイピー様の強みが事業の進捗管理や質の向上に寄与したと考えるため。 ↑コメントを記入してください

市民(受益者)満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
	5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	2 ↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	2 ↑ 1点から5点を記入	2 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	1年目より茅ヶ崎市内在住・在学・在勤の出場者を増加させるべく取り組んだが、至らなかったため。特に出場を見込んでいた市内大学へのアプローチにおいて、学内での周知、認知不足を解決できなかったため。 ↑コメントを記入してください	1年目より本事業の情報発信は、種々の手法を用いて行ってきた。観覧者数は増加したものの、出場者数は減少した。市民への認識度は上がっていると考えられるが、関心が高まっているとは言えない。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
	7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	2 ↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
	8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	D 左のA～Eを記入	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由を記入してください	お互いが持つノウハウ、情報、マンパワーを持ち寄ることで、両者単独では為しえないコンテスト運営を行うことができた。また、アンケート調査結果や出場者自身の発表までのプロセスを鑑みると、出場者の意識の醸成には寄与したと考える。ただし、出場者の数は1年目より減少し、高校生チームの出場も結果的には叶わなかった。決勝イベントの観覧者数は増えたものの、決して多いとはいえず、不特定多数の市民、特に若い世代に対してまちづくりへの参画促進につながらなかった。目的の達成に向けては、ゼロベースでの改善も視野に入れる必要性が考えられた。	

行政提案型
（NPO法人 7 市制70周年 茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業
3F Community Service・文化生涯学習課）

協働推進事業実績報告書

平成31年4月19日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 NPO法人 3F Community Service
代表者氏名 代表理事 内田 洋茂 印

平成30年度行政提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業
担当課名	文化生涯学習課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度5月から6月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくこととなります。

協働推進事業実施結果

<p>事業の実施内容</p> <p>※できるだけ具体的に記入してください。</p>	<p>当初は1年目に制作したメモリアルグッズを中心に、茅ヶ崎市役所1階の市民プラザを使ったPRを考えていたが、文化会館での展示ができるということで、文化会館の大ホールホワイエのエントランスで展示することに。</p> <p>茅ヶ崎にゆかりのあるアーティスト10人による旧文化会館の箱うまなどの廃材を使ったフォトブースの制作を行った。また、別事業において板の廃材にペインティングをほどこし、茅ヶ崎にゆかりのある「タゲリ」をモチーフとしたプロダクトを制作し、あわせてフォトブースに展示した。</p> <p>今回の事業で、文化会館の廃材を、アーティスト、クリエイターの力で新たなプロダクトとして蘇らせることができた。</p> <p>ただ箱うまにデザインをしてもらうだけでなく、箱うまなどを使ったフォトブースを制作したことで、文化会館に訪れた多くの人が、フォトブースで写真を撮り、アーティスト、クリエイターの作品を近くでみることができた。</p>
<p>事業の参加者等</p>	<p>かおかおパンダ(かおり たかはし) / なかだ ゆゆ(Nakada Yuyu) / Toyama Sakiko / 山中 富生(Tomio Yamanaka) / 佐々木 貴行(Takayuki Sasaki) / SARU-BOB / Makino Momoko / Toshiaki Waifone Takahashi / 森 今日子(Mori Kyoco) / Yusei Sagawa / 内田 洋茂</p>
<p>実施日程等</p>	<p>【概要】</p> <p>4月～9月 企画のブラッシュアップ、材料の選定など</p> <p>9月 フォトブースの設計、制作</p> <p>9月27日 フォトブースの設置</p> <p>10月1日～12月2日 展示</p> <p>12月3日 撤去</p>

収 支 決 算 書

協働推進事業費

(総事業費)

251,500 円

(収 入)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	226,000	226,000	市の支出金
B 負担金	2,000	25,500	3F Community Service の負担金
C			
D			
E 収入合計額 (A+B+C+D)	228,000	251,500	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支 出)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
F 人件費	128,000	151,500	事業総責任者賃金 2,500 円/h × 39h = 97,500 円 事業PM 2,000 円/h × 27h = 54,000 円
G 謝金	100,000	100,000	箱うま制作費用 10,000 円 × 10 名 = 100,000 円
H 旅費交通費			
I 通信運搬費			
J 印刷製本費			
K 消耗品費			
L 賃借料			
M 一般管理費			
N 支出合計額 (FからMまで)	228,000	251,500	

協働事業評価書

事業名	茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業
団体名	NPO法人 3F Community Service
担当課名	文化生涯学習課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標 各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

旧館で使用されていた箱馬（舞台道具）を使用し、これまでの歴史を継承してこれからの歴史を積み重ねる象徴となるようなアート作品を、市ゆかりのアーティストと制作し、展示する。市民参加の機会を設け、作品・アーティストと触れ合う場を提供する。作品をとおして旧市民文化会館の面影を感じながら新たな市民文化会館への期待を高めるよう施設のPRを行うとともに、市ゆかりのアーティストに参加を呼びかけ、アーティストのPRにもつなげる。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
アート作品の制作、展示をとおし、市民文化会館及び市ゆかりのアーティストのPRを行う。作品の完成にあたっては、来館者参加型のワークショップを実施する。（作品の展示期間はオープニングウィークイベント期間中。）	アーティスト	参加数7人	10人

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
ワークショップへの参加者数	来館者	20人
完成した作品の観覧者数	来館者	1万人

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	4	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	アーティスト目線と、市民の目線のバランスを取る上で、とても重要でした。	作品制作にはアーティストの感覚、技術が必要であることなど、行政では担えない部分が大いいため。また、アーティスト独自のコミュニティを活かして、市ゆかりアーティストと施設を繋げていただいたため。
	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうであると感じますか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	普段、なかなか文化会館に来ないような、中高生、20代、30代にも関心を持っていただけの内容になっている。また現代アートを見たことのない高齢者の方々にも楽しんでいただけるよう準備を進めている。	ワークショップ開催の注目度が高い。参加し経験することが、次世代の育成につながり、市民にも満足していただけると考える。アーティストとともにアート制作できる機会は貴重で、市の文化芸術振興に寄与している。また、市ゆかりのアーティストのPRもできている。
	↑ コメントを記入してください	↑ コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	A
	左のA～Eを記入

A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった

最終評価の理由や根拠などを記入してください	平成29年度の反省を生かし、今年度は進み方もスムーズで、意思決定が早かった。それぞれの役割分担もしっかりできていて、問題もなく進めることができた。お互いにアイデアを出し合い協力ながら、一緒に事業を進める感覚をもつことができた。
-----------------------	---

事業内容の評価

事業目的目標達成度		評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	5	↑ 1点から5点を記入	5
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	5	↑ 1点から5点を記入	5
事業スケジュール		評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	3	↑ 1点から5点を記入	3
事業手法の妥当性		評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	↑ 1点から5点を記入	4
そのように感じる理由を記入してください→	大きな枠組みのハードの部分は、今まで培ってきた情報や経験がある市に任せた方が早く適任であること。ソフト部分や時代の変化の部分は、僕らのような常に最新の情報をキャッチし、すぐに行動し実行する団体が適任。その2つが合わさり大きな変化を生み出せると思う。	↑ コメントを記入してください	協働であったからこそ、行政にない発想で、且つゆかりのあるアーティストさんたちが関わる作品をつくることができた。
市民(受益者)満足度		評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4	↑ 1点から5点を記入	3
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4	↑ 1点から5点を記入	4
そのように感じる理由を記入してください→	老若男女がアートを体験することができた。茅ヶ崎ではあまり浸透していない現代アートというジャンルを広めることができた。	↑ コメントを記入してください	旧会館のかげら(廃材)を使用した作品を見て、触れることで、旧会館での思い出を振り返っていただけた。
事業内容の総合評価		評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1~6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	↑ 1点から5点を記入	4
予算の妥当性		評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	5	↑ 1点から5点を記入	4
最終評価	A	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A: 十分達成できた B: ほぼ達成できた C: 課題も残ったが概ね達成できた D: あまり達成できなかった E: ほとんど達成できなかった </div> 左のA~Eを記入	
最終評価の理由を記入してください	初めての協働事業で思うようにいかなかった1年目に比べ、2年目はお互いのできることで、得意な部分の相互理解ができ、円滑に事業を進めることができた。 協働の作品をとおして、来館者のみなさんに、文化会館の歴史や、これまで培われてきた文化を感じてもらえる機会をつくることができた。また、ゆかりのアーティストさんに参加してもらい、PRをすることができた。 当初はワークショップでの制作を考えていたが、より多くの来館者の満足につながるよう、観るだけでなく作品に触れたり、写真をとったりできる参加型のオブジェを制作し、且つ指定管理者の協力により当初よりも2か月近く長い期間展示を設けられたことで、より多くの人にご覧いただき、また参加していただけた。		

